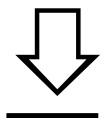
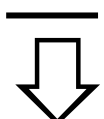
別紙

枚方市教育委員会主要事業の
令和６年度の進捗状況
（令和６年９月30日現在）

令和６年11月

枚方市教育委員会

基本方策	主要事業名	担当部署名	備考
基本方策1	①小中一貫教育推進事業	教職員課 教育指導課	
	②学校園活性化事業	教育指導課 公立保育幼稚園課	
	③枚方市少人数学級充実事業	教職員課 教育指導課 児童生徒課 支援教育課	
	④学校ICT機器等整備業務 （小中学校教育用ICT機器等整備事業）	教育研修課	
	⑤多文化共生教育研究事業 （多文化共生教育推進事業）	支援教育課	
	⑥英語教育推進事業	教職員課 教育指導課	
	⑦読書活動推進事業	教育指導課	
	⑧進路指導等事務	支援教育課	
	⑨学力向上推進事業 （放課後自習教室事業）	教育指導課	
基本方策2	①人権教育推進研究事業 （人権教育推進事業）	支援教育課	
	②多文化共生教育研究事業【再掲】	支援教育課	
	③帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	支援教育課	
	④小中一貫教育推進事業【再掲】	教職員課 教育指導課	
	⑤学校水泳授業民間活用事業	教育政策課 新しい学校推進課 教育指導課	
	⑥部活動指導協力者派遣事業	教育指導課	
	⑦学校支援社会人等指導者活用事業	教育指導課 公立保育幼稚園課	
	⑧小学校給食事業	おいしい給食課	
	⑨学校給食における地元農産物利用促進事業	おいしい給食課	
	⑩食物アレルギー対応推進事業	おいしい給食課	
	⑪学校健康管理事業	学校支援課	
	⑫健康診断事業	学校支援課	
	⑬中学校給食充実事業	おいしい給食課	
	⑭文化財活用事業	文化財課	

基本方策	主要事業名	担当部署名	備考
基本方策2	⑮野外活動センター利用促進事業	スポーツ振興課	
	⑯小学校給食無償化事業	おいしい給食課	新規
	⑰中学校給食における全員給食実施事業	おいしい給食課	新規
	⑱中学校部活動地域連携事業	教育指導課	新規
基本方策3	①枚方市教職員育成事業	教育研修課	
	②授業の達人養成・教科研究事業	教育研修課	
	③学校園活性化事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	
基本方策4	①支援教育推進事業	支援教育課	
	②通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	支援教育課	
	③枚方市教職員育成事業【再掲】	教育研修課	
	④就学前支援教育推進事業	公立保育幼稚園課	
基本方策5	①幼児教育充実事業	公立保育幼稚園課	
	②学校園活性化事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	
	③学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	
	④幼稚園保護者支援充実事業 （預かり保育事業）	公立保育幼稚園課	
基本方策6	①コミュニティ・スクール推進事業	教育指導課	
	②教育委員会広報事務	教育政策課 教育研修課	
基本方策7	①小学校安全監視事業	新しい学校推進課	
	②通学路安全対策事業	新しい学校推進課	
	③小中学校安全対策事業	支援教育課	
	④生徒指導充実事業 （枚方市生徒指導体制充実事業）	教職員課 児童生徒課	
	⑤いじめ問題対策事業	児童生徒課	
	⑥スクールアドバイザー派遣事業	児童生徒課	
	⑦教育相談事業	児童生徒課	
	⑧「心の教室相談員」配置事業	児童生徒課	

基本方策	主要事業名	担当部署名	備考
基本方策7	⑨福祉・教育ソーシャルワーク事業	まるっとこどもセンター	
	⑩不登校児童・生徒支援事業	児童生徒課	
基本方策8	①学校整備・保全事業	施設計画課 施設整備課 施設管理課	
	②学校空調設備整備・維持管理事業	施設計画課 施設整備課	
	③学校規模等適正化事業	新しい学校推進課 施設整備課	
	④学校ICT機器等整備業務【再掲】	教育研修課	
	⑤校務の情報化推進事業	教育研修課	
	⑥小学校給食事業【再掲】	おいしい給食課	
	⑦樟葉西小学校給食調理場改修事業	おいしい給食課	
基本方策9	①社会教育活動推進事業	教育政策課	
	②生涯学習事業	文化生涯学習課	
	③図書館資料購入事務	中央図書館	
	④分館・分室巡回業務	中央図書館	
	⑤中央図書館運営事業	中央図書館	
	⑥図書館分館運営事業	中央図書館	
	⑦コンピュータシステム運営事業	中央図書館	
	⑧障害者利用促進事業	中央図書館	
	⑨電子図書館運営事業	中央図書館	
	⑩学校図書館支援事業	中央図書館	
	⑪読書活動推進事業【再掲】	教育指導課	
基本方策10	①文化財活用事業【再掲】	文化財課	
	②野外活動センター利用促進事業【再掲】	スポーツ振興課	
	③文化芸術創造拠点形成事業	文化生涯学習課	
	④文化財保護管理事業	文化財課	

基本方策	主要事業名	担当部署名	備考
基本方策10	⑤市指定文化財補助事業	文化財課	
	⑥特別史跡百済寺跡再整備事業	文化財課	
	⑦市史編さん年報発行事務	文化財課	
	⑧各種スポーツ大会等開催事業	スポーツ振興課	
	⑨スポーツ推進事業	スポーツ振興課	
	⑩総合型放課後事業	放課後子ども課	
	⑪枚方子どもいきいき広場補助事業	放課後子ども課	

※表中の凡例

●「指標」の「（目指すべき方向）」の表記について

・・・実績値が、目標値へ到達することを目指しています。

・・・実績値が、目標値を上（下）回ることを目指しています。

●「令和６年度の取り組み実績」の表記について

・文頭に◆：事業の取り組み実績

・文頭に◇：事業の課題事項

基本方策1　確かな学力と自立を育む教育の充実

　知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。新学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成する資質・能力を「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の三つの柱に整理されました。
　また、新型コロナウイルス感染症等の危機事象が起こった際にも、子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを実現していくことが必要です。
　学校教育においては、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、求められる資質・能力が偏ることなく実現できるように「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。
　また、９年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続、幼保こ小等の円滑な接続[①]を踏まえ、教職員の指導力や学校力の向上を図ります[②]。
　小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し、よりきめ細かな指導を実践します[③]。また、超スマート社会（Society 5.0）に対応するため、プログラミング教育の推進や情報活用能力の育成の視点も踏まえながら、令和２年６月に策定した「枚方市学校教育におけるＩＣＴ活用の方針」や、国のＧＩＧＡスクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末等のＩＣＴを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びを推進します[④]。
　諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し[⑤]、市内大学とも連携しながら、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成します[⑥]。また、学校図書館の活用による言語能力の育成[⑦]や、職業体験や社会見学、社会人による特別授業等により、社会と関わる機会を多く作るなど、キャリア教育を推進します[⑧]。
　さらに、新たな感染症等の危機事象による学校の臨時休業などにも対応できるよう、オンライン授業の実施等のＩＣＴを適切に活用した学習活動の充実を図る[④]など、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取組を進めます[①⑨]。

主要事業の状況

1-①	小中一貫教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	53,933
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

各中学校区において、小学校から中学校への円滑な接続や、シームレスな学びの推進等に向けて、校区の現状と課題を把握し、小・中学校が連携して以下の取組みを実施している。
○学力向上の取組み
全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。
教科会等における授業研究の推進を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、家庭における学習習慣の充実に努める。
○体力向上の取組み
各小・中学校で、これまで行ってきた体力テストの結果を基に、現状の児童・生徒に合わせた体力向上推進計画を作成・実践する。大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取組みを推進する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率 （参考指標1）※（参1）と表記 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技に関する調査において全国平均を上回る種目数	実績値［A］ （%）	［小学校］ 国語：66.00 算数：64.00 ［中学校］ 国語：69.00 数学：51.00 （参1）2種目	［小学校］ 国語：67.00 算数：63.00 ［中学校］ 国語：71.00 数学：53.00 （参1）小2種目 中1種目	［小学校］ 国語：68.00 算数：64.00 ［中学校］ 国語：59.00 数学：53.00 （参1）（R６.12月把握予定）
（目標値の根拠） 小学校：国語　全国平均 算数　全国平均×1.01 以上 中学校：国語　全国平均 数学　全国平均×1.01 以上 （参考指標1） 前年度実績以上	目標値［B］ （%）	［小学校］ 国語：65.60 算数：63.83 ［中学校］ 国語：69.00 数学：51.91 （参1）2種目	［小学校］ 国語：67.20 算数：63.13 ［中学校］ 国語：69.80 数学：51.51 （参1）小2種目 中1種目	［小学校］ 国語：67.70 算数：64.03 ［中学校］ 国語：58.10 数学：53.03 （参1）（R６.12月把握予定）
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	［小学校］ 国語：100.61 算数：100.27 ［中学校］ 国語：100.00 数学：98.25 （参1）100.00	［小学校］ 国語：99.70 算数：99.79 ［中学校］ 国語：101.72 数学：102.89 （参1）小　100.00 中　100.00	［小学校］ 国語：100.44 算数：99.95 ［中学校］ 国語：101.55 数学：99.94 （参1）（R６.12月把握予定）

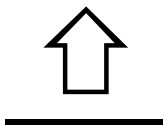
令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

○学力向上の取り組み
◆全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会などの校内組織の充実を図るとともに、学識経験者による講義や指導・助言を受けながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進している。
◆授業改善や家庭学習等の充実に向けて、各校の情報教育推進担当を中心に、ICT機器の活用を図っている。

○体力向上の取組み
◆各小中学校で、児童・生徒の実態に応じた体力向上推進計画を作成し、実践している。また大阪体育大学と連携した研究指定校において、体力向上に向けた取組みを実践し、２学期に１年間の取組みを公開授業と共に発表を行う。
◆ICT機器の活用による児童・生徒の体力向上事業に取組むとともに、全小学校において中学年以降の体力向上プラン「アクションプラン」を作成し、体力向上を推進している。また、各校の好事例を収集、発信している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	–		
	実行計画	第3期実行計画(案)16_01_小中一貫教育の推進	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	―		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-②	学校園活性化事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	35,692
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校（園）内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、枚方市小学生スポーツCarnival、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合	実績値［A］ （%）	小：83.70 中：86.40	小：82.20 中：84.90	小：85.50 中：86.90
（目標値の根拠） 全国平均以上	目標値［B］ （%）	全国平均 小：80.10 中：78.70	小：81.80 中：79.70	小：86.30 中：86.10
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	小：104.49 中：109.78	小：100.49 中：106.52	小：99.07 中：100.93

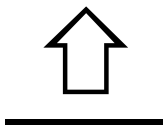
令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆全69校園において設定した研究主題に沿った校内研修等を計画し、外部講師を招聘した校内研修を実施した。また、公開授業を小・中学校において実施している。
◆菊咲かそう体験事業は全校園にて実施している。
◆小学生合同音楽会を6月17日から20日までの4日間、総合文化芸術センターにて開催し、全小学校が参加した。
◆枚方市小学生スポーツCarnivalを9月21日に枚方市立総合体育館において小学校1年生～6年生を対象にして実施した。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・指標数値が減少傾向にある。タブレット端末を使用したコミュニケーションは活発になっているとのことなので、状況が正確に伝わるよう指標の見直しや参考指標の設定を検討いただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画				
関連計画	第５次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	-		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	教職員課・教育指導課・児童生徒課・支援教育課	事業費（千円） ※人件費のみ	予算額	394,164※人件費
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

公立小学校では、１学級35人以下の少人数学級編制を、国が段階的に拡充しており、令和６年度については第１学年から第５学年まで実施する。本市では、小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高めるため、支援学級在籍児童を含んで１学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第５学年まで実施する。また、第６学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施する。
学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 全国学力・学習状況調査の学校質問紙調査「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人ひとりの良い点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか」の強肯定回答率 ※【】は全国平均	実績値［A］ （%）	63.6 【59.0】	61.4 【60.8】	（調整中）
（目標値の根拠） 対前年度比向上	目標値［B］ （%）	65	65	65
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	97.85	94.46	（調整中）

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆本市独自の支援学級在籍児童を含めた少人数学級編制として、小学校第１学年から小学校第５学年までは35人、第６学年については40人で実施とするため、市費負担任期付教員の採用・配置に取り組んでいる。
◆本市独自の学級編制による増学級数54学級に対し、任期付講師45人を配置した。
◇慢性的な講師不足により、市費講師の確保に課題がある。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・その効果を適切に示すことができる指標を今後も引き続き検討いただきたい。（R5点検評価員会議）

関連計画				
	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約			
	実行計画	第3期実行計画（案）施策シート16_02_子どもの確かな学力の定着を図る	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	−		

1-④	学校ICT機器等整備業務 （小中学校教育用ICT機器等整備事業）	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費含む	予算額	762,913
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の管理・整理を行う。
・授業支援ソフトウェア、MDMなどを整備する。
・１人１台端末の導入に伴い、活用充実に向けたソフト面の整備及び更新に向けて、これまでの活用実績の評価を行う。
・１人１台端末の更新に向けて、外部有識者による意見聴取会や児童・生徒、教職員、保護者のアンケート調査での意見を参考に、適切な端末及び周辺機器等の選定を行う。
・令和7年度の1人1台端末の更新に向け仕様書を作成して基金を活用した調達の準備を進める。
・１人１台端末を効果的に活用した授業実践や好事例を市内小中学校に広く情報発信、教職員研修を通じて教職員の授業改善を図る。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合 ※【】内は全国平均	実績値［A］ （%）	89.70 【89.30】	90.03 【未公表】	（３月中実施）
（目標値の根拠） 肯定的回答の割合100%	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	89.70	90.03	—

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆令和7年度端末更新に向けた事務手続き
令和5年度に設置した意見聴取会での意見等を参考に次期1人1台端末に係る機種、周辺機器及び学習支援ソフト、通信手段等にかかる要件を決定。端末とキーボードケースやタッチペン等の周辺機器及び学習支援ソフトのほかセルラー通信（LTE）を含めて賃貸借契約（5年間）する方向で調達仕様書を作成し、基金を活用した調達準備を進めた。
◆端末更新と同時に学習支援ソフトとデジタルドリルを整理。教職員と学校の連絡ツールも整理し令和7年度から統一化を図る。

◇新端末への切替と旧端末の回収
◇新入生へのアカウント配付
◇端末更新後の破損故障の対応と予備機の管理
◇１人１台端末を活用した個別最適な学びと協働的学びの推進
◇コンピュータ教室の活用と充実

これまでの点検評価員等からの主な意見

・今後とも、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成するため、学校ICT機器等の活用の充実に取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針、令和5年度所信表明		
	実行計画	第3期実行計画（案）16-2子どもの確かな学力の定着を図る	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	枚方版ICT教育モデル　教育の情報化に関する手引-追補版-文科省		

1-⑤	多文化共生教育研究事業 （多文化共生教育推進事業）	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	211
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数	実績値［A］ （人・校）	225	228	130
（目標値の根拠） 前年度実績	目標値［B］ （人・校）	319	225	228
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	70.53	101.33	57

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆研究委員会　６月５日　講師「諸沢　征志氏」による在日外国人、人権、差別問題の講演会・学習会の実施。
　　　　　　　９月25日　講師「山野上隆史氏」による在日外国人・国際理解についての講演会・学習会の実施。
◆府外教研究集会（堺・泉北大会）への参加。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・外国にルーツのある子どもへの支援をはじめ、すべての子どもたちが異文化を理解し、多文化を許容することが重要である。（R5点検評価員会議）

関連計画				
関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	−		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_5多文化共生教育の推進	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	−		

<table>
<tr><td>1-⑥</td><td>英語教育推進事業</td><td>担当課</td><td>教職員課
教育指導課</td><td>事業費（千円）
※人件費を含む</td><td>予算額</td><td>235,859</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>決算額</td><td></td></tr>
</table>

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に日本人英語教育指導助手（JTE）または英語専科教員を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校で指導する外国人英語教育指導助手（NET－E）を配置し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。
・英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2・第3学年の全生徒を対象に4技能の到達度を測ることができる学習アプリを活用し、生徒の英語力向上を図る。
・関西外国語大学と連携し、留学生との交流等、英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。
・ICT機器を活用して、本市小学校と海外の小学校とオンラインでの交流を実施する。

<table>
<tr><th colspan="2">指標</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr>
<tr><td>（実績値の内容）
アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童（小学校第3学年～第6学年）及び生徒（中学校第1学年～第3学年）の割合</td><td>実績値［A］
（％）</td><td>小：87.83
中：80.86</td><td>小：86.90％
中：81.37％</td><td>年度末にアンケート実施予定</td></tr>
<tr><td>（目標値の根拠）
児童（小）の満足度90％以上
生徒（中）の満足度85％以上</td><td>目標値［B］
（％）</td><td>小：90.00
中：85.00</td><td>小：90.00
中：85.00</td><td>小：90.00
中：85.00</td></tr>
<tr><td>（めざすべき方向）
⇧</td><td>達成度［C］
（％）
※⇧ならC=A÷B
※⇩ならC={B+(B−A)}÷B
（小数第三位を四捨五入）</td><td>小：97.59
中：95.13</td><td>小：96.56％
中：95.73％</td><td>—</td></tr>
</table>

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆中学校にNET19名、小学校にNET-E2名を配置している。小学校にJTE27名を配置している。
◆学習アプリの活用が進んでいる。夏休み終了までに、全中学校第2・第3学年において、自身の到達度を測定するレベルチェックテストをほぼ全員が受験済みである。
◆枚方英語村の３学期開催に向けて、関西外国語大学と連携し準備を進めている。
◆一人一台タブレットを活用して、本市小学校と海外の小学校とオンラインでの交流を複数回実施した。今後も実施を予定している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・学年があがるごとに、授業が楽しいと答えた児童数が減少している実態を詳しく分析していただき、特に小学校で英語を苦手とする児童をつくらないよう、今後も取組みを進めていただきたい。（R5点検評価員会議）
・達成度は高水準で推移しているものの、経年比較すると小学校では微減している。学年が上がっても英語を楽しく学べる授業づくりをこれからも進めていただきたい。（R6点検評価員会議）

<table>
<tr><td rowspan="4">関連計画</td><td>第5次
総合計画</td><td>基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち
施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</td><td rowspan="2">達成度</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>市長公約</td><td>令和６年度　市政運営方針　令和5年度　所信表明</td></tr>
<tr><td>実行計画</td><td>第3期実行計画(案)16_02子どもの確かな学力の定着を図る</td><td rowspan="2">R5からR6の達成度の推移</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>関連計画</td><td>-</td></tr>
</table>

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	86,407
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。
・市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等、授業における学校図書館の活用を推進する。
・小学校における学校図書館を活用した教育活動の支援等に向けて、学校司書確保の取組みを進めていく。
・児童・生徒が主体的に主権者として必要な資質・能力を身に付けることの重要性に鑑み、小・中学校に複数紙の新聞配備を進める。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する本市の割合	実績値［A］ （%）	小：54.90 中：43.60	小：52.20 中：43.00	（設問なし）
（目標値の根拠） 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する全国の割合	目標値［B］ （%）	小：59.60 中：48.60	小：60.00 中：49.40	（設問なし）
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	小：92.11 中：89.71	小：87.00 中：87.04	―

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆学校司書配置小学校20校による、「学校図書館を活用した取組報告書」をポータルサイト「まなViVA!ひらかた」に掲載し、情報発信を行った。また、司書教諭・学校司書研修にて、学校図書館の活用や小中学校の好事例を具体的に紹介し、共有することで、読書活動の取組推進を図っている。
◇各校で、読書活動の取組推進を図っており、活動報告としての実績はあるものの、アンケートでの数値としては表れにくい。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・令和3年度については、事業指標の結果から、特に小学生の読書習慣に課題が生じているため、対策を講じていただきたい。（R4点検評価員会議）
・様々な取組は行われているものの、指標となる数値は小学校では減少傾向、中学校では横ばいとなっており、目標値との開きも縮小していない。今後も、好事例の発掘と共有を行うなど、読書活動の活性化に向けて取り組んでいただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	令和６年度市政運営方針、令和5年度所信表明		
	実行計画	第3期実行計画(案)16_02_子どもの確かな学力の定着を図る	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	-		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-⑧	進路指導等事務	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	2,804
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・進学意欲を有しながら、経済的な理由により就学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、進路選択支援事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を実施する。
・教育活動全体を通して学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 教育活動全体を通してキャリア教育を実施し、キャリア・パスポートを作成した児童・生徒の割合（パスポート作成児童・生徒数／5月1日現在全児童・生徒数）	実績値［A］ （%）	100.00 (29,906/29,906)	100.00 (29,292/29,292)	100.00 (28,675/28,675)
（目標値の根拠） 児童・生徒全員がキャリア・パスポートを取得すること。	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆奨学金等に関する相談や情報提供を行っていることを、業務を受託している特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会が枚方市立中学校に周知及び案内をした。また、保護者等を対象に奨学金に係る対面での説明会を令和６年６月28日に開催（参加者20名）するとともに、枚方市教育委員会のホームページに奨学金の関係資料を掲載し、説明のための動画配信を行っている。
◆例年に引き続きキャリア・パスポートを活用したキャリア教育を全小中学校において実施している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

1-⑨	学力向上推進事業 （放課後自習教室事業）	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	50,240
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる民間の学習コンテンツを利用できるように環境を整備し、学力向上の取り組みを推進する。また、放課後学習教室の開室方法を見直し、中学生対象に民間のノウハウを生かした学習教室を実施し、生徒の学習支援を行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 放課後学習教室の実施回数（夏季集中学習教室を除く。） （参考指標1）※（参1）と表記 「来年も参加したい」と回答した生徒の割合 （参考指標2）※（参2）と表記 実人数（登録者数）	実績値［A］ （回）	1,593 （参1）48% （参2）1,754人	513 （参1）28.5% （参2）449人	200 （参1）２月にアンケート実施予定 （参2）407人
（目標値の根拠） 【R4年度】年間24日（小44校） 27日（中19校）開室 【R5年度】年間27日（中19校）開室 【R6年度】年間27日（中19校）開室 （参考指標1）前年度実績以上 （参考指標2）１校20人×19校	目標値［B］ （回）	1,593 （参1）37% （参2）2,077人	513 （参1）48% （参2）240人	513 （参1）28.5% （参2）380人
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00 （参1）129.73 （参2）84.45	100.00 （参1）61.95% （参2）187.08%	38.99 （参1）－ （参2）107.11%

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用しながら、授業・課業時間外・家庭学習における学習機会の充実を図っている。
◆5月から中学生対象の放課後学習教室ひらスタを開室した。8月には令和5年度から対象を中学3年生から中学全学年に拡充した夏季集中学習教室を開催し、参加生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着などの学習支援を図った。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	－		
	実行計画	－	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	－		

基本方策２　豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

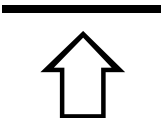
自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。一人ひとりの個性や価値観、多様化する人権課題を身近に感じ、考える機会をつくることで、すべての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にする心を養います[1]。また、多様な文化を認め合い、人類普遍の理念である平和の持つ意義を学ぶとともに、国際社会に貢献する資質や態度を身につけられる教育を進めます。

外国籍であったり、長く外国で居住していたなどの理由で、日本と異なる言語・文化・習慣で育った子ども等に対し、日本語習得のための機会の提供や相談支援などを進めることで、多文化共生の推進に取り組みます[2,3]。

小・中学校期は健全な身体の育成に重要な時期であることから、大学との連携による効果的な体育科の授業実践や民間活力を活用した水泳指導などに取り組むとともに、中学校部活動については、引き続き専門的なスキルを持つ外部人材を活用し、充実していきます[4,5,6,7,18]。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加等、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進[8,9]や、食物アレルギーへの対応など、安全で安心な学校給食を提供し[10]、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します[4,11,12,16]。中学校給食では、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、全員給食の実施に向けた検討を進めます[13,17]。

さらに、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会[14]や、自然を生かした野外活動などの体験活動を拡充します[15]。

主要事業の状況

<table>
<tr><td>2-①</td><td>人権教育推進研究事業
（人権教育推進事業）</td><td>担当課</td><td>支援教育課</td><td>事業費（千円）
※人件費は除く</td><td>予算額</td><td>1,579</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>決算額</td><td></td></tr>
</table>

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数	実績値［A］（人）	486	435	318
（目標値の根拠） 前年度実績	目標値［B］（人）	564	486	435
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］（%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	86.17	89.5	73

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆ひらがな学習会４月10日への参加
◆大人教進路保障実践交流会７月30日への参加
◆大人教夏季研究大会８月20日～21日への参加
◆大人教豊能大会10月25日～26日へ参加予定
◆第一回人権担当者会議５月22日人権担当者のチーム作り・今年度の取り組みについて、６月19日レポート報告・各校レポート交流、10月９日　人権・支援・生徒指導について講演とワークショップを予定
◆夏のフィールドワーク７月31日「ひらがなにっき」を訪ねて。富田林市人権協議会
◆枚人研　未来塾　人権をベースとした集団作り、授業づくりについての交流。人権教育をどう学校に広めているかを考える活動を６月５日・７月31日・９月11日に実施

これまでの点検評価員等からの主な意見

・研修の実施で完了するのではなく、研究事業としての成果をまとめるなど、研究の積み上げを今後に生かしていく効果的な方法に努めていただきたい。（R6点検評価員会議）

<table>
<tr><td rowspan="4">関連計画</td><td>第5次
総合計画</td><td>基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち
施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</td><td>達成度</td><td></td></tr>
<tr><td>市長公約</td><td>－</td><td rowspan="3">R5からR6の達成度の推移</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>実行計画</td><td>－</td></tr>
<tr><td>関連計画</td><td>－</td></tr>
</table>

2-②	多文化共生教育研究事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	支援教育課

<table>
<tr><td>2-③</td><td>帰国児童等に対する教育指導員派遣事業</td><td>担当課</td><td>支援教育課</td><td>事業費（千円）
※人件費は除く</td><td>予算額</td><td>5,027</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>決算額</td><td></td></tr>
</table>

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、日本語及び教科の学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣し、当該児童等の孤立感の解消や学校生活への適応の促進に努めることにより、当該児童等に対する教育の充実を図る。

<table>
<tr><th colspan="2">指標</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr>
<tr><td>（実績値の内容）
帰国児童等が対応を必要とする言語数に対して教育指導員が対応可能な言語数の割合（対応可能な言語数／対応を必要とする言語数）</td><td>実績値［A］
（%）</td><td>87.50（7/8）</td><td>100.00(6/6)</td><td>100.00(7/7)</td></tr>
<tr><td>（目標値の根拠）
帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合が100%</td><td>目標値［B］
（%）</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr>
<tr><td>（めざすべき方向）
⇧</td><td>達成度［C］
（%）
※⇧ならC=A÷B
※⇩ならC={B+(B-A)}÷B
（小数第三位を四捨五入）</td><td>87.50</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr>
</table>

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣した。
◆指導員が不足している言語については、関係機関と連携し、市のＨＰや広報等で幅広く登録の募集を募っているところである。
◆帰国児童等が対応を必要とする言語数：６言語（中国語・タガログ語・ベトナム語・スペイン語・ネパール語・ウルドゥー語）
◆そのうち教育指導員が対応可能な言語数：６言語（中国語・※タガログ語・ベトナム語・スペイン語・ネパール語・※ウルドゥー語）
◆対象児童生徒数：20名（タガログ語の児童１名、ウルドゥー語の生徒１名については教育指導員を募集中）

これまでの点検評価員等からの主な意見

<table>
<tr><td rowspan="4">関連計画</td><td>第5次
総合計画</td><td>基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち
施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</td><td rowspan="2">達成度</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>市長公約</td><td>-</td></tr>
<tr><td>実行計画</td><td>-</td><td rowspan="2">R5からR6の達成度の推移</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>関連計画</td><td>-</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>2-④</td><td>小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載</td><td>担当課</td><td>教職員課
教育指導課</td></tr>
</table>

2-⑤	学校水泳授業民間活用事業	担当課	教育政策課 新しい学校推進課 教育指導課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	51,879
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・市立小学校における水泳授業について、民間施設や民間の専門スタッフを活用した取組みを進めることで、児童の泳力向上を図る。併せて、水泳授業に関連する業務の改善や、学校プール施設の老朽化に伴う維持管理、改修・改築費用の縮減などにつなげる。
・事業の効果検証を行いながら、民間施設の活用の拡充、公設民営施設の新設、屋外プールの改修等、今後の学校プールのあり方について検討する。
・令和４年度の実施校6校（山田、殿二、田口山、樟葉西、蹉跎、氷室（スタッフ派遣））
・令和５年度の実施校11校 ※前年度実施校６校に加えて新規５校（殿一、枚二、樟葉南、樟葉北、開成）
・令和６年度の実施校13校 ※前年度実施校11校に加えて新規２校（香里、川越）
各民間施設の受入意向や受入許容人数を正確に見極めた上で、民間活用のスケジュールや実施手法等を示す推進計画の作成に取り組む。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 水泳授業の委託を行った学校の数	実績値［A］ （校）	6	11	12
（目標値の根拠） 段階的に小学校の水泳授業の委託を実施する。	目標値［B］ （校）	6	11	13
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	92.31

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆小学校における水泳授業の民間活力の活用について、令和５年度の実施校に新たに２校（香里小・川越小）を加え、計13校での事業実施を予定していたが、氷室小（学校へのスタッフ派遣）については、入札不調となったため本事業を中止し、同校の教員により水泳授業を行った。
◆市内および近隣の民間水泳施設計14施設を運営する計９事業者に対し、本事業の今後の検討に向けたヒアリングを行った。
◆これまでの課題検証や民間事業者へのヒアリング結果等を踏まえ、本事業の今後の方向性について、改めて「小学校水泳授業民間活用に関する基本的な考え方」として、今年度中に取りまとめる。
◆「基本的な考え方」に基づき、本事業の全小学校への拡大を目指し、庁内協議を進めるとともに、令和７年度中に、今後の年次計画を作成予定としている。
◇施設利用校の学校プール施設の取り扱いも含めた跡地活用について、整理が必要である。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	令和5年度所信表明		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_03 高い指導力と意欲を持つ教職員の育成	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	-		

2-⑥	部活動指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を除く	予算額	16,919
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 中学校部活動指導協力者の派遣回数 （指導協力者の派遣1回につき２時間、教員の負担軽減が図られたとみなす）	実績値［A］ （回）	4,852	5,167.5	2,828
（目標値の根拠） 派遣回数の上限	目標値［B］ （回）	5,320	6,650	6,650
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	91.20	77.71	42.53

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆４～９月の半年間で、延べ112名の部活動指導協力者の登録があり、市内19中学校のすべての学校で活用がある。
◇部活動指導協力者に対するハラスメント等に関する研修の実施時期及び手法等の検討
◇中学校部活動地域連携に係る制度構築における部活動指導協力者の取扱いの検討

これまでの点検評価員等からの主な意見

・教員と同様に、部活動指導協力者に対しても、体罰防止等の研修の実施を検討すべきである。（R5点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_03_高い指導力と意欲を持つ教職員の育成	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	-		

2-⑦	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	3,913
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校での教育活動の活性化を図る。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 学校支援社会人等指導者を活用した回数	実績値［A］ (回)	1,654.5	1,623.0	643.5
（目標値の根拠） 活用回数の上限（1校園あたり約22回）	目標値［B］ (回)	1,830	1,820	1,865
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ (%) ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	90.41	89.18	34.50

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆小・中学校において、各教科における学習支援（総合的な学習の時間や外国語等）や読み聞かせ、菊の栽培、放課後学習の支援を実施し、教育活動の活性化を図っている。
◆幼稚園においては、お話会やわらべ歌遊びの会などを実施している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・指導者確保の工夫として、コミュニティ・スクールを活用するなど、地域にあった方法を検討していただきたい。（R5点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	-	**R5からR6の達成度の推移**	
	実行計画	-		
	関連計画	-		

2-⑧	小学校給食事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	709,214
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・全小学校の児童を対象に、2箇所のセンター方式の共同調理場、５箇所の親子方式共同調理及び22箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便等の業務について業務委託により実施する。
・社会情勢の変化においても、保護者への経済的な負担をかけずに、栄養素をバランスよく摂取しつつ様々な食に触れる献立となるよう、質を確保した給食提供に取り組んでいく。
・食材料費の物価高騰相当額を枚方市学校給食会へ補助することで、児童に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供に努めていく。
・学校給食の牛乳パックについては、関係部署及び民間事業者と連携し、リサイクルの取り組みを継続するとともに、献立表にリサイクルについてのコラムを掲載するなどし、環境への啓発に取り組んでいく。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 小学校給食提供食数 （提供できた食数）	実績値［A］ （食）	4,098,819	4,057,831	1,815,207
（目標値の根拠） 年間の給食提供食数 （年間で提供しなければいけない食数（※学校から提供の報告があった食数））	目標値［B］ （食）	4,098,819	4,057,831	4,016,688
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100	45.19

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆共同調理場、親子方式共同調理場及び単独調理場で、安全で栄養バランスのとれたおいしい学校給食を確実に提供できている。また、給食費を引き上げずに食材料費の高騰に対応するため、学校給食費支援事業補助金により食材料費を枚方市学校給食会へ補助することで、多様な食材で栄養バランスの整った給食の安定的な提供に取り組んでいる。学校給食用牛乳パックついては、引き続き、関係部署と連携し、公民連携によるリサイクルに取り組んでいる。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・学校給食の牛乳パックのリサイクルの取組みの教育効果を高めるため、児童へのフィードバックの更なる充実を期待する。（R5点検評価員会議）

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	-		

2-⑨	学校給食における地元農産物利用促進事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	-
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図っている。令和４年度より精米の納入先を切り替え、地元農産物の使用率が大幅に減少したが、引き続き枚方産及び府内産野菜の積極的な活用に取り組んでいく。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 地元農産物の割合 (大阪府内産・枚方産の使用割合)	実績値［A］ (%)	9.00	5.00	7.10
（目標値の根拠） 第３次枚方市食育推進計画の地元農産物使用目標値	目標値［B］ (%)	38.00	38.00	—
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ (%) ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	23.69	13.16	—

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆令和６年度の野菜類使用状況については９月時点で、玉ねぎ、じゃがいも、ニンジン、えんどう豆、なす、さつまいも、冬瓜、青葱を使用している。
◇令和６年度に策定された「第４次枚方市食育推進計画」において、地元農産物使用目標値は示されていないことから、今後、本事業の目標値の設定については検討が必要である。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

2-⑩	食物アレルギー対応推進事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	-
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・食物アレルギー対応の適切かつ的確な取組みを進めるため、主治医が記載した学校生活管理指導表や学校におけるアレルギー疾患対応の手引きに基づき、学校給食における食物アレルギー対応上の事故（救急搬送）件数（新規発症を除く）が０件となるよう、安全の確保に取り組む。
・中学校給食においては、毎日、８大アレルゲンを使用しない代替食を提供することで、より安心安全な給食提供を実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）件数	実績値［A］ （件）	0	0	0
（目標値の根拠） アレルギー対応をしている児童における事故（救急搬送）がないこと	目標値［B］ （件）	0	0	0
（めざすべき方向） ⇩	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆中学校給食において、毎日８大アレルゲンを使用しない給食の提供を行い、小学校給食においては、卵・乳・エビの除去食対応を行っている。
◆学校で発生したヒヤリハット・事故報告については、教育委員会内での情報共有を行うとともに、必要に応じて、現場への注意喚起を行っている。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	-		
	実行計画	-	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	-		

2-⑪	学校健康管理事業	担当課	学校支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	6,529
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

学校園医（内科医、眼科医、耳鼻科医）、学校園歯科医、学校薬剤師、結核検診医、心臓検診医、腎臓検診医、歯科衛生士による小学校44校、中学校19校での内科、眼科、耳鼻科、歯科健康診断などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 学校内科医1人あたりの児童・生徒数	実績値［A］ （人）	328	321	315
（目標値の根拠） 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出	目標値［B］ （人）	330	330	330
（めざすべき方向） ⇩	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.61	102.72	104.55

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆市立小中学校において、内科・運動器・眼科検診・歯科健康診断を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校園医により行った。
◆結核対策委員会・心臓検診協議会・腎臓検診協議会を年間各2回開催予定。
◆学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質（中学校部活動校のみ）、照度の検査等を行う。
◆歯科衛生士によるブラッシング指導を各小学校で学年を決めて1学期12校で実施し、2学期32校実施予定。
◆健康相談は、専門的な観点、立場から学校及び児童・生徒の支援を行う。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

2-⑫	健康診断事業	担当課	学校支援課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	38,654
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

全学校において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 健康診断受診率 定期健康診断の受診率（受診者数/対象者数×100）	実績値［A］ （%）	99.99	99.19	99.55
（目標値の根拠） 対象者全員	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	99.99	99.19	99.55

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆全児童・生徒対象に、結核検診、内科検診、運動器検診、眼科検診、尿検査を実施し、歯科健康診断を実施した。
◆小学校第1学年及び中学校第1学年対象に、心臓検診を実施した。
◆小学校第1・3学年及び中学校第1学年対象に、耳鼻科検診を実施した。
◆小学校第5学年及び中学校第1学年の希望者対象に、モアレ撮影検査を実施予定。
◆結核検診総受診者数：28,553人、総対象者数：28,672人

これまでの点検評価員等からの主な意見

・不登校児童生徒に対しても、様々な方法でアプローチされていることは評価できる。引き続き、きめ細やかな対応を行い、全員が受診できるよう努めていただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

2-⑬	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	435,301
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。
・社会情勢の変化においても、保護者への経済的な負担をかけずに、栄養素をバランスよく摂取しつつ様々な食に触れる献立となるよう、質を確保した給食提供に取り組んでいく。
・食材料費の物価高騰相当額を枚方市学校給食会へ補助することで、生徒に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供に努めていく。
・学校給食の牛乳パックについては、関係部署及び民間事業者と連携し、リサイクルに取り組んでいる。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 中学校給食の喫食率	実績値［A］ （%）	35.20	37.03	38.66
（目標値の根拠） 中学校給食の各年度目標喫食率	目標値［B］ （%）	50.00	50.00	50.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	70.40	74.06	77.32

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆喫食率については、令和６年度に入り中学校給食を開始してから初めて38%を超え、９月は39.4%で順調に上昇している。
◆給食費を引き上げずに食材料費の高騰に対応するため、学校給食費支援事業補助金により食材料費を枚方市学校給食会へ補助することで、多様な食材で栄養バランスの整った給食の安定的な提供に取り組んでいる。
◆学校給食用牛乳パックついては、引き続き、関係部署と連携し、公民連携によるリサイクルに取り組んでいる。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約			
	実行計画		R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画			

2-⑭	文化財活用事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	1,309
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替え
・文化財防火デー（市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施）
・歴史講座、歴史ウォーク（市内文化財めぐり等）
・特別史跡百済寺跡での築地塀完成記念式典
・枚方まつりで大阪工業大学の協力を得てＡＲ映像を使った啓発ブースの出展
・文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で発掘調査の出土遺物等を展示、枚方宿での「まちかど歴史展示」）
・新旧鋳物工場を巡る「鋳物ツーリズム」
・発掘調査現地説明会
・刊行物（文化財関係図書等）の発行など
・出前講座
・古文書講座

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 歴史関連イベントの参加者数	実績値［A］ （人）	1,916	2,210	1,859
（目標値の根拠） 過去のイベント（平成18年～前年）の参加者数の平均値を目標値とする（事業統合により、令和2年度から古文書講座・楠葉台場跡の活用事業を加えた）	目標値［B］ （人）	1,216	1,258	1,309
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	157.56	175.68	142.02

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

〈9月30日時点の実績〉
◆文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で発掘調査の出土遺物等を展示）「よみがえる百済寺」579人
◆発掘調査報告会・市民歴史講座「茨田堤と枚方の古墳時代」144人
◆枚方まつりでの文化財課ブース「百済寺跡」AR映像体験 1,026人
◆百済寺跡復元築地塀完成記念式典 63人
◆古文書講座　47人
◆文化財だよりの発行、出前講座等

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19　地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）19_01　歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

2-⑮	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	3,805
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

野外活動センターの利用増をめざし、学校キャンプ（日帰り･宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 市内小学校のキャンプ利用件数	実績値［A］ (件)	22	16	8
（目標値の根拠） 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数	目標値［B］ (件)	25	25	25
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ (%) ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	88.00	64.00	32.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆９月30日までの学校キャンプの実施は、当初中学校で２件、小学校で７件を予定していたが、悪天候のため小学校で１件のキャンセルがあった。また、10月以降は14件の実施を予定しており、令和６年度の実績としては22件を見込んでいる。
◇全国的なバス運転手の不足等により、学校キャンプにおけるバスの確保が課題となっている。このため、学校が希望する日程ではなく、バスの手配ができる日程で調整を行っており、学校のニーズに十分な対応が出来ていない。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画				
	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_04 スポーツ活動の推進	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

2-⑯	小学校給食無償化事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	513,380
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・子育て支援として、子育て世帯の負担軽減策の更なる拡大に向けた取組みとして、小学校給食の食材費を市が負担することによる給食費の無償化を行う。
・令和６年２学期からの運用開始に向け、学校給食の無償化に関係する部署、枚方市学校給食会、学校等との調整や、必要な整備を進め、着実に取り組んでいく。

【整備項目】
①学校への周知、②就学援助の取扱いの調整、③生活保護の取扱いの調整、④学校事務処理との調整、⑤規約等の改正、⑥学校給食会への周知、⑦保護者への周知、⑧学校給食会への負担金交付、⑨小学校給食無償化の実施

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 小学校給食無償化の運用開始に必要な整備達成率 ※「整備項目」は「事業概要」の①～⑨のとおり	実績値［A］ （%）			100.00
（目標値の根拠） 整備達成率	目標値［B］ （%）			100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）			100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆学校給食費に関係する部署と無償化に向けての検討調整を行い、各部署に係る制度等に問題がないように無償化に向けての方針を決定するとともに、必要な時期に学校や保護者等へ的確に周知することで、混乱せずに２学期からの無償化を開始することができた。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明・令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画(案)16_09中学校全員給食の実施	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画			

2-⑰	中学校給食における全員給食実施事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	8,143
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・学校給食は、子どもたちに栄養バランスのとれた食事を提供し、健康増進や体位向上を図るだけではなく、食育の教材として活用することで生涯にわたる豊かな食生活を培うものであることから、中学校の全員給食を行い、より豊かな学校生活をめざす。
・令和６年度はアドバイザリー委託において、新給食センターの整備をＰＦＩ方式で進めていく上で必要な実施方針や要求水準書を作成するとともに、枚方市立中学校全員給食事業ＰＦＩ事業者選定審議会を開催し事業者公募に向けての取組みを進めていく。

【整備項目】
①配膳室エアコン設置、②備品購入、③懇話会開催、④今後の方針の決定、⑤方針に基づく計画の作成、⑥学校への説明、⑦第一共調設計委託、⑧可能性調査、⑨アドバイザリー委託、⑩第三共調解体・設計、⑪配膳室拡張設計委託、⑫第三共調工事、⑬配膳室拡張実施工事、⑭第一共調改修工事、⑮物品・大型備品等の購入

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 持続可能な中学校給食の運用開始に必要な整備達成率 ※「整備項目」は「事業概要」の①～⑮のとおり	実績値［A］ （%）	33.00 （指標①②③④⑤）	47.33 （指標①②③④⑤⑥⑧⑨）	49.33 （指標①②③④⑤⑥⑧⑨）
（目標値の根拠） 各年度の整備達成率	目標値［B］ （%）	100.00 （指標①～⑮）	60.00 （指標①～⑨）	51.33 （指標①②③④⑤⑥⑧⑨）
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	33.00	78.88	96.10

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆新給食センターの整備をＰＦＩ方式で実施するにあたり、アドバイザリー委託において、令和７年度の事業者選定に向け作成した実施方針及び要求水準書(案)をホームページで公表し、９月に質疑回答を行った。現在は、入札説明書などの入札に必要な資料の作成を行っており、入札における審査の進め方も含め、枚方市立中学校全員給食事業ＰＦＩ事業者選定審査会において検討を行い、12月の入札公告に向け準備を進めていく。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明・令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画(案)15_01小学校の給食無償化	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画			

2-⑱	中学校部活動地域連携事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	11,772
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

中学校部活動の在り方については、スポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を踏まえて、本市の実情に沿った「ひらかたモデル」としての部活動の方針の改訂に向けて、枚方市中学校部活動の在り方懇話会や関係課で組織する庁内委員会において協議、検討を進めていく。
令和６年度は、「ひらかたモデル」の策定に向けて、意見聴取会である有識者、保護者、学校長、関係団体からなる枚方市中学校部活動の在り方懇話会の開催、及び学校内外における地域部活動の試行実施等を行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 休日に顧問教員なしで活動する中学校部活動及び地域クラブ数	実績値［A］ （クラブ）			2
（目標値の根拠） 部活動指導員（会計年度任用職員）の配置、委託事業者からの部活動指導者の派遣及び市内大学グラブによる受入れにより地域連携を推進	目標値［B］ （クラブ）			6
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）			33.33

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆中学校部活動の在り方について、スポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を踏まえて、本市の実情に沿った「ひらかたモデル」としての部活動の方針の改訂に向けて、枚方市中学校部活動の在り方懇話会や関係課で組織する庁内委員会において協議、検討を進めている。
◆令和６年度は試行実施として、９月に部活動指導員（会計年度任用職員）の学校配置及び市内１大学のクラブにおける小・中学生を受け入れを実施している。また、10月以降、委託事業者による休日（土・日・祝日）における中学校１校３クラブへの指導者派遣、ダンスクラブの創設、及び市内２大学のクラブにおける小・中学生の受入れを予定している。
◇部活動指導員の確保に向けた周知・確保手法等の検討

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_03_高い指導力と意欲を持つ教職員の育成	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	-		

基本方策3　教職員の資質と指導力の向上

　本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力等、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。
　平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府から教職員研修の権限が移譲されました。そのため、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施し[①]、「経験年数の少ない教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します[①]。
　また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人・授業マイスターによる研究授業等により、授業改善につなげること[②]で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実させる[①③]とともに、学校教育の水準の維持・向上に資するため、業務量を適切に管理することで、教職員の働き方を見直し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保します。
　さらに、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善や、「カリキュラム・マネジメント」等の組織運営改善に係る教育課題に対応した研修[①]のほか、情報活用能力の育成のため、ＩＣＴ活用のねらいを明確にした教職員のＩＣＴ活用能力の向上に係る研修にも取り組みます[①]。

主要事業の状況

3-①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	7,565
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」ことを目標に、「研修履歴を活用したキャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」『Hirakata授業スタンダード』に記載されている授業計画時に大切にしたい５つのＣの視点に基づいた授業改善」「人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援」「課題解決型学習(Project based Learning［ＰＢＬ］)による授業改善」の４点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー等（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、初任期教職員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「ＧＩＧＡフェス」を実施。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合	実績値［A］ （%）	95.00	96.01	96.87
（目標値の根拠） 研修の実質的効果	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	95.00	96.01	96.87

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆令和６年度は、５年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」ことを目標に、①研修履歴を活用したキャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②『Hirakata授業スタンダード』に記載されている授業計画時に大切にしたい５つのCの視点に基づいた授業改善、③人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援、④課題解決型学習(Project Based Learning［ＰＢＬ］)による授業改善の４点を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修をはじめとする教員の経験・職務に応じた研修（基本研修）、教育課題や教科等の専門性を高める研修（専門研修）、専門的な職務を担う教職員の知識・技能の習得を図る研修（職務研修）を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っている。
◆学び続ける教職員のさらなる育成のため、希望研修を充実させ、教職員が一人ひとりの課題や職務に応じた研修を自ら主体的に受講でき、管理職による研修受講奨励が推進する仕組みを構築した。
◆学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー等（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、初任期教職員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。
◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「ＧＩＧＡフェス」を12月25日に実施予定。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りや指導力についての評価が高まってきたそうである。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針、令和5年度所信表明		
	実行計画	第3期実行計画（案）16-2子どもの確かな学力の定着を図る	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画			

3-②	授業の達人養成・教科研究事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	350
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」を実施。２年間の講座受講後、授業マイスターの認定試験を行う。授業マイスターは、示範授業、実践発表を一定の回数行い、その後、授業の達人の認定試験を受けることができる。

●授業の達人養成講座（※段階的に「達人」に認定するシステムを構築する）
・外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。
・教材研究、学習指導案の検討を行い、年2回の研究授業（公開授業）を実施。
・先進地域、先進校への視察を実施。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 「授業の達人養成講座」の受講者の伝達度	実績値［A］ （%）	98.76	99.31	99.08
（目標値の根拠） 「授業の達人養成講座」の受講者の伝達度	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	98.76	99.31	99.08

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員（「授業マイスター」「授業の達人」）を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施した。
◆令和６年度は、２年継続研修の１年目として、『授業の達人養成講座』を予定通り年間12回実施中である。枚方市の学力向上ビジョンを体現できる教員の育成に向けて、受講者が授業実践し、枚方市のモデルとなる授業か展開できる研修を意識的に実施している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りや指導力についての評価が高まってきたそうである。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）
・「授業の達人養成講座」の受講者の理解度・満足度がともに100%であることは評価できる。今後は、受講者の研修内容の伝達度に着目した指標を設定することについて、検討をお願いしたい。（R5点検評価員会議）
・マイスター認定後、達人認定までの基準に関してロードマップを作成し明確化したことは評価できる。認定に向けて適切なフォローを行いながら、質の高い教育を実践する教員の育成に取り組んでいただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	−		
	実行計画	第3期実行計画（案）16-3高い指導力と意欲を持つ教職員の育成	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	−		

3-③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課

基本方策４ 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

　障害のある子どもをはじめ、すべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」という観点から、障害への理解の促進や、ともに育ちあう集団づくり等を踏まえた教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。
　障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる[①]とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます[①]。
　障害のある子どもや、配慮を要する子どもに対する支援ツールとして、タブレット端末等のＩＣＴを活用するとともに、タブレット端末の入出力が困難な場合にも対応できるよう、音声文字変換や視線入力システム等の入出力支援装置の整備を進めます[①]。
　また、平成28年４月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める[①②④]とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組みます[③]。
　さらに、配慮を要する子どもについて、支援教育コーディネーターを中心として、より具体的な個別の教育支援計画の作成・見直しを行う[①②④]とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます[①②④]。

4-①	支援教育推進事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	442,492
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配する。
・令和５年度から令和６年度にかけて枚方市支援教育充実審議会を開催し、学識経験者や教職員、市民からなる審議会委員に支援教育の充実に向けて審議していただく。その審議内容や中間答申を踏まえて令和７年度以降の取組み等を決定していく。
・障害のある児童・生徒の適切な就学及びその後の個別の教育支援計画の策定等に際し、医学、心理学、教育学の専門家（枚方市教育支援アドバイザー）より助言を受け、支援教育の充実を図る。
・肢体不自由児介助員を配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、学習等の介助を行う。
・学校看護師を配置し、小中学校の医療的ケアを必要とする児童・生徒の日常生活を支援する。
・特別支援教育支援員を小学校30校（令和５年度比21校増）と全中学校に配置し、通級指導教室を新設した小中学校の支援を要する児童・生徒の生活、学習等の補助を行う。
・通常の学級に在籍する発達障害等の児童･生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。
・支援学級在籍の児童を対象に、馬とふれあい、豊かな心の育成を目的として自立のための支援を行う。
・肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。
・車椅子で移動が必要な児童・生徒が在籍する学校に対して、階段の昇降に必要な「階段昇降車」を貸与する。
・通級指導教室において、指導に必要な教材や備品等の整備を行う。
・支援学級入級児童･生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。
・効果的なアセスメントを実施し、適切な教材を選択できるようにするため、全小中学校に導入した教育支援ソフトを活用して、児童・生徒一人ひとりに個別最適な指導を行う。
・支援教育の向上、発展に寄与する研究会に参加し、本市の支援教育のより一生の充実に努める。
・支援教育課職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。
・小学校13校（令和６年度３校新設）、中学校全校に設置した自校式通級指導教室の今後の拡充に向けて、新設の自校式通級指導教室モデル校と共に啓発や取り組みを発信する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 支援教育に関する専門的な知識･技能をもつ専門家の派遣回数	実績値［A］ (回)	117	112	117
（目標値の根拠） 小･中学校専門家、理学療法士等は前年度実績、リーディングチームは前年度実績の１割増。	目標値［B］ (回)	118	120	113
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ (%) ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	99.15	93.33	103.54

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒の支援に関し、殿山第二小、中宮小、長尾小、招提北中に専門家を派遣し、指導・助言した。また、支援教育課職員が、学校園、保育園所、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施した。
◆小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、44小学校、19中学校すべてに非常勤講師を加配した。
◆肢体不自由児介助員を31人（通年・短期）配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行った。また肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施し、併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行った。
◆学校看護師を35人（通年・短期）配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒の学校における日常生活を支援した。
◆特別支援教育支援員を62人（通年・短期[支援教育補助員]）配置し、発達に課題のある児童・生徒の学習の補助や学校生活における介助を行った。
◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級・通級指導教室の設備整備を行った。
◆枚方市支援教育充実審議会を４回開催し、本市の支援教育の充実について、諮問し、審議を行った。
◇支援を必要としている児童・生徒に見合う人員（学校看護師、肢体不自由児介助員、特別支援教育支援員）の確保が課題で、特に肢体不自由児の介助に従事する肢体不自由児介助員の人員不足、医療的ケアに従事する学校看護師の人員不足が顕著である。
◇支援を必要としている児童・生徒が年々増加しているため、消耗品費、庁用器具費の確保が必要である。
◇車イス等による移動に介助が必要な児童・生徒が在籍する学校には、階段昇降機を配置しているが、学校施設のエレベーター整備等に関する方針等に基づき、引き続き学校設備の充実に向けて取り組んでいく必要がある。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・他市のモデル事業となるよう、今後も引き続き、一人のひとりの教育的ニーズを大切にした「ともに学び、ともに育つ教育」の実現に向け、取組みを進めていただきたい。（R5点検評価員会議）
・自校式通級指導教室を導入するなど、今後の通級指導教室の拡充に向けての取り組みを進めていることは評価できる。また、支援教育充実審議会の答申を踏まえた今後の取り組みについても期待したい。（R6点検評価員会議）

関連計画				
関連計画	第５次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和６年度市営運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_8全小中学校に通級指導教室を設置、支援教育の	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	−		

4-②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	2,000
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・小中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。
・市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） タクシーを利用した児童・生徒の人数	実績値［A］ （人）	25	28	30
（目標値の根拠） 年度当初の通学タクシー利用申請人数	目標値［B］ （人）	29	30	30
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	86.21	93.33	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆利用を希望する児童・生徒に対して、本事業を実施することで適切な支援を行うことができている。
◆毎日利用している児童・生徒　６人
　小学生３人、中学生２人、支援学校生１人
◆雨天時など必要に応じて利用している児童・生徒　24人
　小学生19人、中学生５人
◇本事業の趣旨を理解・賛同して、協力依頼に応じるタクシー会社が減少している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	–		
	実行計画	–	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	–		

4-③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載	担当課	教育研修課

4-④	就学前支援教育推進事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	5,675
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・幼稚園巡回相談を実施し、発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児への個に応じた指導について、専門的な知識・技能をもつ相談員を市立幼稚園及び市内の私立幼稚園・認定こども園に派遣する。相談員が教職員への指導・助言を行うとともに保護者からの教育相談に応じることにより、各園及び家庭との連携を通して、支援教育の一層の充実を図る。
就学前の幼児を対象とした言語訓練指導（幼児ことばの教室）を実施し、吃音、構音障害など、主に言語面に課題がある5歳児を対象に、元小中学校通級指導教室担当の指導員が個別指導を行う。
・幼稚園に在籍する個別の支援や配慮を要する幼児への指導・支援に関し、特別支援加配員（旧：支援教育担当）及び生活支援員を配置する。また、医療的ケアを必要とする園児への日常生活の支援をする為、看護師を配置する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 保護者のニーズ（申し込み）に対する各支援事業の実施率	実績値［A］ （%）	100.00	100.00	100.00
（目標値の根拠） ニーズ（申し込み）に対する実施率100%	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児や保護者に対して相談員を派遣するとともに、主に言語面に課題がある５歳児を対象とした言語訓練指導を実施した。
◆市内の公私立幼稚園及び認定こども園に対し、相談員を派遣した回数：172回
◆幼児ことばの教室の実施回数：104回
◆支援等が必要な幼児に対し、支援教育担当職員及び生活支援員を配置した。
◆支援教育担当の配置状況：43名
　生活支援員の配置状況：16名

これまでの点検評価員等からの主な意見

・専門員の巡回等による幼児や保護者に対する相談支援が重要であり、家庭に寄り添った支援を進めていただきたい。（R4点検評価員会議）

関連計画				
関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	第3期実行計画（案）15_01子どもが安心して教育・保育を受けられる環境	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

基本方策５　幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加等、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取組を進める必要があります[①]。

幼児教育の目的は「生涯にわたる人格形成の基礎を養う」ことであり、令和元年度から市立幼稚園で拡充した３歳児保育などに引き続き取り組みながら、「幼稚園教育要領」にある、自立心や協同性、道徳性などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実現するため、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに、学級集団に応じた適切な指導を行います[①②③]。また、幼児期（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）と児童期（小学校）の教育の円滑な接続・連携を図り、学びや発達の連続性を踏まえた取組を推進します[①②]。

加えて、幼稚園の預かり保育については、実施時間の延長などの充実を図ってきており、今後も引き続き、保護者の心身のリフレッシュや就労等のニーズに対応できるよう取り組みます[④]。

また、地域の未就園児も含めた親子での遊びの場の提供や、保護者交流の場の提供、さらには子育て相談の取組を推進します[④]。

主要事業の状況

5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	588
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育のコーディネーター的な役割が果たせるよう、小学校・私立幼稚園・認定こども園・公私立保育所（園）等と連携を図るとともに、未就園児親子が参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談等に取り組む。また、令和4年度に国の採択を受けた「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の取り組みとして、市がコーディネーターの役割を担いながら、地域就学前児童施設や小学校との関係の構築を図る。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） ①または②を達成した幼稚園の延べ園数 ①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動（学校見学・授業見学・児童との交流・給食体験など）を、年間を通して5回以上実施する ②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年間を通して2回以上開催する	実績値［A］ （園）	12	12	12
（目標値の根拠） すべての市立幼稚園において①及び②を達成する（すべての市立幼稚園において①及び②を達成すれば、延べ園数は6園×2＝12となる）	目標値［B］ （園）	12	12	12
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆小学校の空き教室での給食体験や、校庭での散歩及び小学校の教員による授業体験など、幼児が小学校生活に期待や親しみが持てるような活動を実施した。また、併せて幼保こ小連携推進に関して、架け橋期における幼児期や児童期の育ちについて教職員等で合同研修を行ったり、互いの授業を視察できる場を設けるなど、教育・保育内容の相互理解を図った。
◆各幼稚園にて見学会を実施し、市立幼稚園の施設や保育内容について周知する機会を設けた。また、子育てに不安がある保護者からの育児相談に対して個別に対応した。
◆「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の取組みとして、架け橋プログラムに関する全体会を開催し、私立の就学前施設61か所に参加いただいた。また、全体会後に、連携体制を構築していくための会議を校区ごとに開催し、公私の連携を図った。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・小学校への円滑な接続が重要であり、引き続き、授業見学や教員同士の連携の充実を図り、幼稚園児が進学後も安心して小学校生活を送れるよう取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）
・小学校や保育園との連携が進んだ点は評価できる。今後とも、私立の就学前施設との連携を図りながら着実に事業を進めていただきたい。（R5点検評価員会議）
・幼稚園等の就学前施設と小学校での合同の研修会や互いの授業視察などを通じて相互理解を深め、小学校へのスムーズな接続に向けて連携していることがうかがえる。（R6点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15　子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	-	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	-		

5-②	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課

5-③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課

5-④	幼稚園保護者支援充実事業 （預かり保育事業）	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	73,969
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

幼稚園で預かり保育を実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 保護者のニーズ（申し込み）に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率	実績値［A］ （%）	100.00	98.30	93.00
（目標値の根拠） ニーズ（申し込み）に対する実施率100%	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	98.30	93.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆就労支援の一環として、全ての公立幼稚園において幼稚園給食を実施した。
◆令和６年10月より、枚方幼稚園において預かり保育の定員拡充の試行実施を行う予定。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・定員拡充の試行実施を行うとのことだが、引き続き保護者ニーズに沿った利用しやすい事業への拡充に努めていただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15　子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	第3期実行計画（案）15_01子どもが安心して教育・保育を受けられる環境	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画		

基本方策6　社会に開かれた学校づくりの推進

　近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「社会に開かれた学校づくり」の推進が求められています。
　保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティ・スクール等、学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます[①]。また、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組みます。
　学校園の信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力・学習状況調査の結果や分析をはじめ、「学校いじめ防止基本方針」や校内における相談体制等について、ホームページに掲載するなど、学校の取組や子どもの状況等の情報を積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます[①②]。また、学校と保護者との連絡体制について、ミルメールの改善、双方向の連絡手段の構築に取り組みます。
　教育に関わる課題が多様化・複雑化する中、より地域や保護者との協力関係を築きながら、学校の組織としてのあり方の見直しや業務の改善を進める[①]ことで、「チーム学校」としての機能を果たせるよう、学校園ガバナンスの確立に取り組みます。

主要事業の状況

6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	教育指導課	事業費（千円）※人件費を含む	予算額	3,080
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

枚方市では保護者及び地域住民等からなる学校運営協議会を設置した学校を枚方市におけるコミュニティ・スクールと定義し、協議会の最大の目的を「校長の学校運営に対して必要な支援を行うこと」としている。
地域全体で教育を実現する仕組みの構築をめざし「学校と家庭、地域が連携・協働し、子どもたちの健やかな成長を支えていく学校づくりを進めていくこと」をねらいとした研修会等を定期的に開催し、枚方市におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取組内容等の発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合	実績値［A］（%）	96.00	95.45	年度末にアンケート実施予定
（目標値の根拠） 肯定的回答の割合100%	目標値［B］（%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］（%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	96.00	95.45	—

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆全44小学校において、年間3回以上の学校運営協議会を開催し、地域全体で協働して学校運営に取り組んでいる。また、コミュニティスクール担当者を全校に配置し、学校の課題を地域と共有するとともに、コミュニティスクール担当者や管理職を対象に研修を継続して行っている。
◆11月にコミュニティスクール担当者や管理職を対象とした研修を実施予定。
◇学校運営協議会委員及び地域人材を対象にした研修の開催

これまでの点検評価員等からの主な意見

・コミュニティ・スクールについては、地域全体で協働して学校運営に取り組む体制が構築されていることが伺える。今後、子どもたちの学びを更に豊かにするために、コミュニティ・スクールなどによる「地域とともにある学校づくり」を推進していく必要がある。全国的にもコミュニティ・スクールに関する取組みが推進されている中で、今後も、好事例校に着目したデータ分析も行いながら、地域の方々の力を活用した教育の充実を図っていただきたい。（R4点検評価員会議）
・今後は、学校や子どもたちへの支援にフォーカスをあてた取組みの充実を期待している。あわせて、新たな指標の検討もお願いしたい。（R5点検評価員会議）
・ブログやホームページを活用し、学校や子どもたちの様子を積極的に発信することで、地域や保護者等との協力関係構築に向け努力が払われている。今後も積極的な情報発信や地域との協働を進め、開かれた教育委員会、学校をめざして取り組んでいただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

6-②	教育委員会広報事務	担当課	教育政策課 教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	6,294
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

児童・生徒、保護者、市民にとって必要な情報を適切に発信するため、学校の取り組みや子どもの状況のほか、教育委員会での取り組み等について、学校ブログやホームページを用いて積極的に公表するとともに、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげる。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） １か月あたりの平均ブログ閲覧数（全小中学校と委員会）	実績値［A］ （件）	193,640	222,811	242,702
（目標値の根拠） 前年度実績からの５％増（アクセス数を増加させることで、開かれた学校づくりを推進するもの）。 ただし、令和４年度は学校当たり月3,000件のアクセス数を見込み3,000件×64か所＝192,000件とする。	目標値［B］ （件）	192,000	201,600	233,952
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.85	110.52	111.52

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆全小中学校から合計約35,000回のブログ投稿
学校ブログを活用し学校の日々の様子や教育活動の様子などの情報をよりタイムリーで分かりやすく発信できた。また、12月のブログリニューアルに向けた説明会も実施し、移行に向けた更新も随時行うことができた。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・ブログ等を通じて学校の日々の様子が簡単に知ることができるようになることで、学校がより身近な存在になると考える。引き続き、子ども・地域・教職員の元気な様子が伝わる、ポジティブな情報発信の充実を期待する。（R5点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	－		
	実行計画	－	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	－		

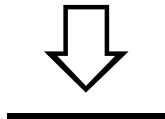
基本方策７　学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

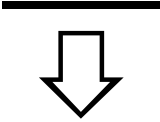
また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境など様々な理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりに向けて、オートロックや機械警備等による学校施設内の安全確保①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携のほか、防犯カメラや、専用端末を使用した子どもの位置情報履歴確認サービス等による通学路の安全対策の強化を図ります②。また、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する③とともに、同システムの改善を通じて安全・安心な体制の構築に努めます。

さらに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します③。

新型コロナウイルス感染症等への対応として、必要な消耗品等の配備や、消毒作業の実施など、状況に応じた安全対策を図るとともに、子どもたちには、自分や周囲の大切な人を守るための実践力を育てます。

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、被害者が精神的苦痛や不安を克服できるよう支援するとともに、加害者への教育的配慮等、学校園において誠実かつ丁寧に組織的対応を行います④⑤⑥⑦⑧⑨。いじめの防止、早期解決に向けては、ＳＳＷ等の専門家に加え、新たに市が委嘱するスクールロイヤーを活用します⑤⑨。

児童・生徒の不登校の兆しにも留意しながら、より一層の未然防止に努めます⑦⑧⑨⑩。あわせて、不登校児童・生徒への対応としては、登校しやすい学校づくりを進めるとともに、社会的自立をめざし学校への復帰以外の選択肢があることを含め、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます⑦⑩。また、これまでの対応に加え、ＩＣＴ等を活用した学習活動など個に応じた取組を進めます。

子どもの貧困対策については、子育て家庭への経済的な負担軽減や学習支援、相談支援など様々な施策を横断的かつ重層的に活用しながら、適切な支援を進めます⑦⑨。

また、不登校やひきこもり、児童虐待、子どもの貧困等、支援を必要とする児童・生徒に関わる様々な事象に対しては、未然防止や早期対応ができるよう、行政各分野が持つ子どもの情報の共有化を適切に進めるとともに、今後、制定する「（仮称）子どもを守る条例」を踏まえながら、関係部署、関係機関、地域とともに総合的な取組を進めていきます⑤⑨⑩。

主要事業の状況

7-①	小学校安全監視事業	担当課	新しい学校推進課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	36,982
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し、安全監視を実施する。
・来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数	実績値［A］ （件）	0	0	0
（目標値の根拠） 全小学校の侵入事案なし	目標値［B］ （件）	0	0	0
（めざすべき方向） ⇩	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆児童の安全・安心な学習環境の確保のために、監視カメラ等機器などの配置・修繕を、学校からの要望にできるかぎり応える形でおこなっている。
◆来校者の多い時間帯や児童の登下校時には、機器の活用だけでなく安全監視員などを配置し、人の目による監視を行い、学期毎に安全監視日誌を集め不審者等がいないかを確認する等により、令和６年９月30日時点で児童在校中の小学校への不審者侵入件数が０件である等、子どもの安全を確保する環境を維持している。
◇安全監視員について、地域の方々の協力により成り立っているが、現状、担い手不足の問題がある。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・事件等がなければ、達成度はずっと100%になる。例えば予定通りカメラの修繕を行えたかどうかなどを指標とすればいいのではないか。（R4点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	−		
	実行計画	−	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	−		

7-②	通学路安全対策事業	担当課	新しい学校推進課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	25,436
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。
・「枚方市子ども交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、警察等と連携した通学路の安全保持を実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 交通専従員、交通指導員の配置人数 （信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する）	実績値［A］ （人）	60	60	60
（目標値の根拠） 前年度実績	目標値［B］ （人）	59	60	60
（めざすべき方向） ⇩	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	98.31	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆小学校19校（31箇所）に60人の交通専従員・交通指導員を配置し、登下校の安全確認を図った。
◆小学校を通じて報告のあった危険箇所のとりまとめを行った。今後は「枚方市子どもの交通安全プログラム」に基づき、関係機関と連携しながら、危険箇所の解消を図っていくとともに、必要に応じて、道路管理者、教育委員会、警察署等による合同点検を実施する。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画				
関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	−		
	実行計画	第3期実行計画（案）16-07教育環境の充実	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	−		

7-③	小中学校安全対策事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	6,789
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。
・小中学校においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。
・いのちの大切さを学ぶ教育を在学中に受けられるように、全小学校の高学年を対象に小学校において、胸骨圧迫とＡＥＤの取り扱いに特化した救命講習を実施する。
・小学校において防災キャンプを実施する。
・学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 小中学校における交通安全教室の実施回数	実績値［A］ （校）	107	107	94
（目標値の根拠） 全中学校（19回）、小学校歩行交通安全教室（44校）自転車交通安全教室（44回）	目標値［B］ （校）	107	107	107
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100	87.9

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆各学校において、危機管理マニュアルを見直した、実践的な避難訓練を実施。
◆小学校では９月末日現在、１年生を対象とした交通安全教室を33校で実施、３年生を対象とした自転車交通安全教室を26校で実施済み。未実施校については今年度中に実施予定。
◆中学校では１年生を対象に警察による自転車安全教室を16校で実施済み。未実施校については今年度中に実施予定。
◆全小学校高学年を対象とした胸骨圧迫とＡＥＤの取り扱いに特化した救命講習を26校で実施済み。未実施校については今年度中に実施予定。
◆小学校防災キャンプを９月28日に小倉小学校で、９月29日に蹉跎東小学校で実施。令和７年２月に明倫小学校で実施予定。
◆学校園から報告された不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を、メール配信システムを活用し、関係機関、保護者に提供している。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・小学校高学年対象の救急救命講習は重要であるので、継続してほしい。（R6点検評価員会議）

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	−		
	実行計画	−	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	−		

7-④	生徒指導充実事業（枚方市生徒指導体制充実事業）	担当課	教職員課 児童生徒課	事業費（千円） ※人件費のみ	予算額	63,667
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、警察等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。
・生徒指導体制の構築と強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させ、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。
・各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル（体罰防止編）を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 中学校全体の暴力行為の発生件数 （参考指標1）※（参1）と表記 小学校全体の暴力行為の発生件数	実績値［A］ （件）	36 （参1）93	41 ※1学期末時点 （参1）35	31 ※1学期末時点 （参1）20
（目標値の根拠） 暴力行為発生件数が前年度より10%減少 （参考指標1） 暴力行為発生件数が前年度より10%減少	目標値［B］ （件）	74 （参1）84	32 （参1）93	37 （参１）32
（めざすべき方向） ⇩	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	151.35 （参1）89.29	71.88 （参1）162.37	116.22 （参1）137.50

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和６年度は中学校7校に市費負担任期付教員を1人ずつ配置し、4校には非常勤講師を1人ずつ配置している。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ的確に指導を行っている。
◇実績値が目標値を下回ったため、令和６年度1学期末時点においては達成となる。原因については、各学校がすべての児童・生徒にとって安全・安心で、魅力ある学校となるよう、一人ひとりに対して丁寧に対応している結果であると考える。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な学校行事がコロナ禍以前同等に戻る中、児童・生徒間の接触や交流が活発になったことで、本来体験できていた経験等の不足により、うまくコミュニケーションが取れずに暴力行為へ発展してしまうケースもみられる。今後については、繰り返しの暴力を防ぐことはもちろん、そもそも暴力行為に至ることのないよう、日頃から生徒の自己肯定感等を高める発達支持的生徒指導を推進していく必要がある。
加配講師（任期付講師）配置校
令和６年度　第一中、第四中、中宮中、杉中、山田中、桜丘中、蹉跎中
※（非常勤講師）第二中、津田中、楠葉中、楠葉西中

これまでの点検評価員等からの主な意見

・生徒指導充実事業については、中学校での暴力行為の増加は問題と考える。コロナ禍での生徒のストレス増加も原因の1つかも知れないが、詳細な分析と対策が必要である。また、近年の傾向から、小学校での暴力行為についても、今後、注視していくべきである。（R4点検評価員会議）
・小学校の暴力件数が年々増加し、中学校の暴力件数を超える状況である。今後も子どもたちの様子を見守りながら、対応方法の分析をお願いしたい。（R5点検評価員会議）
・全国的にも棒よく行為が増えている状況を踏まえて、枚方市の状況の正確な把握と原因分析を進め、事後の指導だけではなく、未然防止にも重点を置いた対応を検討いただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画				
	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和5年所信表明　令和６年度市政運営方針		
	実行計画	-	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

7-⑤	いじめ問題対策事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	30,706
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・枚方市の関係部課と大阪府子ども家庭センターや警察等外部関係機関に属する者で構成される枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を開催する。
・枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。
・いじめ問題防止啓発資料「ストップ！いじめ」を枚方市立小中学校の児童・生徒が貸与されているタブレットに配信。（アイコンをタップするだけで開くようにしている）
・児童生徒課にいじめ対応として、弁護士、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを配置している。また、学校がいじめの未然防止、早期発見・早期対応、事後の迅速かつ適切な対応が行えるよう、指導助言する。
・人権政策課のいじめ対策グループと連携して学校のいじめ対策の強化を図るため、月１回連携会議を開催している。
・重大事態については、第三者機関として重大事態調査委員会を設置している。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） いじめの発生年度の次年度の６月末時点の認知したいじめの解消率（解消件数/認知件数）	実績値［A］ （%）	小 99.08 【2,699/2,724】 中 94.29 【463/491】	小 99.77 【3,402/3,410】 中 98.74 【939/951】	小 2.80 【40/1,428】 中 4.32 【19/440】 ※令和6年7月末時点
（目標値の根拠） 年度内に小･中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小･中学校合わせた解消率とする。	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	小 99.08 中 94.29	小 99.77 中 98.74	小 2.80 中 4.32 ※令和6年7月末時点

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会は、１回目は７月２日に開催し、２回目は２月に開催予定である。
◆「枚方市学校いじめ対策審議会」は、４月、５月、７月に開催した。10月からは、新たな構成メンバーで行う。次回は10月に開催予定である。
◆いじめ問題防止の啓発のための「ストップ！いじめ」を子ども向けに改訂し、タブレット端末に配信した。
◆枚方市いじめ防止基本方針に基づき、疑いの段階からいじめを認知し、聴取等早期の対応に努めており、児童・生徒にいじめ理解教育を行うことで、いじめの未然防止に取り組んでいる。
◆各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向け、取り組んでいる。
◆生起したいじめ事案については、学校から、毎月、いじめの態様等の報告を受けている。
◇いじめ案件が年度を超えて発覚することもある。普段から学校に向けて、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けての取り組みを促していく必要がある。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・令和3年度においては、目標値である100%に近い解消率を示しており、また、事務局によると、年度末時点では、前年度比で約10%解消率が高くなったとのことである。いじめは起こらないことが第一であるが、残念ながら発生した場合には、引き続き早期解決に努めていただきたい。（R4点検評価員会議）

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	令和5年所信表明　令和６年度市政運営方針		
	実行計画	−	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	−		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

7-⑥	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	240
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

●スクールアドバイザーの業務
事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。
●スクールアドバイザーとして派遣する者
臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、児童生徒課が依頼した者

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合 （派遣件数/派遣要請件数）	実績値［A］ （%）	100.00（11/11）	100.00(16/16)	100.00(3/3)
（目標値の根拠） 派遣要請に対して、実際に派遣した割合	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆スクールアドバイザーの派遣要請回数：3回
◆スクールアドバイザーを派遣した回数：3回
◆派遣した学校…春日小（2回）、招提中（1回）
◆児童生徒の心のケアだけでなく、保護者や教職員のカウンセリングを行い、助言やコンサルテーションを行ってもらった。
◆どの学校からも「専門家から適切なアドバイスをもらえた」という評価を受けた。

◇緊急派遣のため、派遣終了後の長期的な見守りや支援へつなげていくことが課題である。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	−		
	実行計画	−	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	−		

7-⑦	教育相談事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	10,546
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

●子どもの笑顔守るコール（いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン）
幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。（平日　9:00～17:00）
●継続教育相談
幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。（要予約　月～金）

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 電話、来館による年間相談延べ件数（子どもの笑顔守るコール、教育文化センター内での継続教育相談、教育文化センター内でのメンタルヘルス相談の延べ件数）（教職員課へ移管のためR6年度よりメンタルヘルス相談件数除く）	実績値［A］ （件）	2,009	1,972	887
（目標値の根拠） （R4.R5年度）子どもの笑顔守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績 （R6年度）子どもの笑顔守るコール、継続教育相談の延べ件数の前年度実績	目標値［B］ （件）	2,268	2,009	1,922
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	88.58	98.16	46.15

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆「子どもの笑顔守るコール」（「いじめ専用ホットライン」と「教育安心ホットライン」）では、幼児・児童・生徒が抱える諸問題の解決や早期発見、早期対応を図るため、心理士等の専門家が電話による教育相談を行っている。
◆「いじめ専用ホットライン」は９件、「教育安心ホットライン」は110件、「継続教育相談」は768件の相談を受けている。（９月末時点）

これまでの点検評価員等からの主な意見

・これまで相談件数が少なかった教職員のメンタルヘルス相談件数が、積極的な周知により増えたことは評価するが、働き方改革の視点も含めて教職員の負担軽減を進め、児童生徒と関わる時間の確保に努めていただきたい。（R6点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	－		
	実行計画	－	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	－		

7-⑧	「心の教室相談員」配置事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	8,385
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 心の教室相談員の年間総配置回数	実績値［A］ （回）	1,622	1,621	733
（目標値の根拠） 小学校1校あたりの平均配置回数を37回	目標値［B］ （回）	1,628	1,628	1,628
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	99.63	99.57	45.02

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆心の教室相談員の総配置回数：1628回
◆1回の活動時間は4時間。1校あたり年間35回を年度初めに配当し、後期に学校から希望を取り、平均2回の追加配当を行う。（10月初旬）
◆学校によっては年度初めや夏休み明けに回数を増やしたり、工夫して運用を行っている。残回数については毎月確認を行っているため、計画的な運用ができている。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-	R5からR6の 達成度の推移	
	実行計画	-		
	関連計画	-		

7-⑨	福祉・教育ソーシャルワーク事業	担当課	まるっと子どもセンター	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	65,145
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有するSSWを、12か所の拠点校に配置（令和６年度は13校の配置予定）
・配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応
・教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法に基づく教職員への相談援助
・小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進
・学校と関係機関等との連携のコーディネート
・スクールカウンセラーとの連携
・小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築
・拠点校以外の学校への巡回（学期に１回程度）による、児童・生徒の見立てやプランニング等。
・各種研修会、連絡会等への参加
・SSWに対し、法律、福祉、心理、教育の専門的見地から指導助言を実施する、スーパーバイザー（SV）の設置
・相談支援体制拡充のためのSSWの増員

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） スクールソーシャルワーカー等の活動回数	実績値［A］ （回）	999	1,335	1,054
（目標値の根拠） 【R4年度】 288回　（SSW2人×週3日×48週） 768回　（SSW4人×週4日×48週） 【R5年度】 144回　（SSW1人×週3日×48週） 1152回　（SSW6人×週4日×48週） 【R6年度】 288回　（SSW2人×週3日×48週） 1,920回　（SSW10人×週4日×48週）	目標値［B］ （回）	1,056	1,296	2,208
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	94.6	103.01	47.74

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆拠点校の管理職やSSW担当教諭が出席する連絡会を２回実施。
◆教職員に向けての福祉的手法に基づいたアセスメントシートやケース会議の在り方等について研修を実施。
◆SSW、SVによる学校への研修を９回実施。
◇SSWの人員が少ないため、拠点校以外の担当校からの派遣要請への対応が課題。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15　子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）15_04子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づ	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	48,436
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・不登校の兆候が見えた児童・生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校児童・生徒に対して、校内教育支援ルームなどを活用して、教育相談や学習支援などを行い、不登校児童・生徒に対する適切な支援を行う。
・枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。
・1人1台貸与されているタブレット端末をツールとして、不登校児童・生徒に対し、学習の保障のため、タブレットドリルの配信やオンライン授業を行う。また、双方向で学校と児童・生徒とコミュニケーションが取れるよう図る。
・枚方市教育支援センターと校内教育支援ルームの連携を図り、オンラインでのプログラム配信やメタバース空間を活用した支援等を行う。
・公民連携による居場所づくりを実施する。
●枚方市教育支援センター入室児童・生徒
学習活動・体験活動・創作活動等、社会的自立をめざした支援・指導を行う。
・訪問指導：学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。
・馬とのふれあい体験：馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 年間30日以上の不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒数の割合 【計算式】学校内外の施設につながっていない不登校児童・生徒数（年間30日以上）÷年間30日以上の不登校児童・生徒数 令和６年度より年間90日以上→年間30日以上に変更。実績値、目標値、達成度修正 【〔〕内の数値】年間30日以上の不登校児童・生徒の数（令和６年度分は９月末日時点の数）	実績値［A］ （%）	中　73.91 小　78.03 〔中：644 小：355〕	中　33.08 小　27.60 〔中：680 小：442〕	中　36.71 小　16.05 〔中：369 小：194〕
（目標値の根拠） 【中学校】毎年、各校1人ずつ減少する 【小学校】毎年、3分の1の学校（15校）1人ずつ減少する	目標値［B］ （%）	中　80.03 小　71.43	中　70.96 小　59.72	中　30.29 小　24.21
（めざすべき方向） ⇩	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	中　107.64 小　91.54	中　153.38 小　153.78	中　78.80 小　133.71

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆教育支援センター「ルポ」を利用している児童・生徒の活動の様子について、Google Classroomを通して週に1度、学級担任等との連絡を取るなどの連携強化を行っている。
◆枚方市教育支援センターと校内教育支援ルームの連携として、Google Classroomを活用し、教育支援センター「ルポ」で実施しているプログラムをオンラインで配信している。
◆教育支援センター「ルポ」において、MinecraftEducationを使った自宅からも参加できるオンライン支援を実施したり、民間施設を活用したeスポーツに触れる体験を実施している（社会とのつながりを意識）。
◆オンラインで不登校支援担当者等の交流会を実施し、校内教育支援ルームについて情報共有の機会を持った（９月27日）。
◆公民連携プラットフォームを活用した居場所づくりとして、バーチャル空間を活用した不登校支援の試行実施を行った。
◆ブログ、Googleclassroomを活用し、教育支援センター「ルポ」の活動を積極的に発信している。
◇教育支援センター「ルポ」の登録者は9月末で72名となっており、令和５年度の年間の登録人数（88名）に迫っている。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・令和3年度においては、大阪府下では不登校児童数は前年度から横ばいであるが、枚方市は増加傾向にあり課題と考える。原因分析を行ったうえで、例えば地域の力を活用して、問題解決につなげる実践などを研究していただきたい。（R4点検評価員会議）
・枚方市における不登校の児童・生徒の数は、年々増加している。児童・生徒が安心して過ごすことのできる居場所づくりを推進するとともに、不登校になってしまった児童・生徒が社会に取り残されることがないよう、地域や関係機関との連携も含め、児童・生徒が常にどこかとつながっている状況をつくっていただきたい。（R5・R6点検評価員会議）

関連計画				
	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	令和5年所信表明　令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_06不登校対策の強化	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	-		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

基本方策８　学びを支える教育環境の充実

　少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進等、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取組が必要です。
　令和２年３月に策定した「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレの洋式化・ドライ化や校舎の長寿命化改修などの計画的な整備を進めます[①]。
　空調設備については、令和２年度で終了する「枚方市学習環境整備ＰＦＩ事業」の検証を踏まえ、令和３年度以降、より効果的・効率的な維持管理・更新を行うとともに、学校体育館への空調設備の計画的な整備が図られるよう取り組みます[②]。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます[③]。
　また、ＩＣＴを効果的に活用したわかりやすく深まる授業や個に応じた家庭学習の充実を実現するため、教職員・児童・生徒に対し、一人一台のタブレット端末や周辺機器等を配備するなど、教育の情報化を推進します[④]。
　また、教育委員会と学校とが、今まで以上に一体となって学校運営を進めていくため、ＩＣＴ等を活用したより効率的な情報共有や連絡体制の確立をめざします。
　さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ＩＣＴを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する[⑤]とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持等、勤務環境の整備に取り組みます。
　衛生面に配慮した安全で安心な給食を安定的に提供する[⑥]ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます[⑦]。

主要事業の状況

8-①	学校整備・保全事業	担当課	施設計画課・施設整備課・施設管理課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	3,446,913 （内R5から繰越2,920,358）
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を行う。
・「学校施設のエレベーター設置等に関する方針」に基づき、3校の実施設計と4校の工事を進める。
・直営作業による小中学校のグラウンド改修を行う。
・「枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、学校施設のZEB化の達成に向け、CO2削減効果の高い照明設備のLED化を行う。

※学校トイレのドライ化、洋式トイレへの改修、バリアフリートイレの整備は令和５年度に完了

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 枚方市学校整備計画に基づき全小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明機器に更新した割合 【参考指標】 R4・5年度については、枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの改修工事実施箇所（系列）数	実績値［A］ （%） 【参】（件）	53.4 【参】31	61.6 【参】35	61.60
（目標値の根拠） 枚方市学校整備計画に基づき全小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明機器に更新する割合 【参考指標】 R4・5年度については、枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの計画対象箇所（系列）数	目標値［B］ （%） 【参】（件）	53.4 【参】31	61.6 【参】35	64.1 【参】令和５年度までに計画数達成のため設定なし
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	96.10

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆「枚方市学校整備計画」に基づいた保全工事40件の内、1件の工事が完了しており、残り39件については現在実施中である。【施設整備課】
◆「学校施設のエレベーター設置等に関する方針」に基づいた設置工事を、4校で実施中である。【施設整備課】
◆LED化については計画通り進んでおり、今年度は4件工事発注し、全て契約を締結したところである。【施設整備課】
◆直営作業によるグラウンド改修については、現在、中学校１校で実施中である。【施設管理課】

これまでの点検評価員等からの主な意見

・学校トイレのドライ化と洋式化、及び多目的バリアフリートイレの整備を計画的に推進している。（R4点検評価員会議）

関連計画				
	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_07教育環境の充実	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	枚方市学校整備計画、枚方市地球温暖化対策実行計画		

8-②	学校空調設備整備・維持管理事業	担当課	施設計画課 施設整備課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	1,458,813 (内R5から繰越531,198)
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・小中学校の教室等の空調設備の更新及び点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。
・小中学校体育館62棟への空調設備を整備する。また、整備後の点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 空調設備の維持管理室数に対しての実施室数	実績値［A］ （室）	2,495	2,504	2,515
（目標値の根拠） 小中学校における空調設備の維持管理室数	目標値［B］ （室）	2,495	2,504	2,515
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆小中学校の教室等の空調設備の更新については、８月に公告をおこない、事業者選定を進めている。【施設計画課】
◆中学校体育館９棟（令和５年度１０棟設置完了）、小学校体育館１８棟へ空調設備を設置し維持管理を実施している。残りの小学校体育館２５棟については、施工中であり令和６年度中には、空調設備の設置完了を予定している。設置後、維持管理を実施する。【施設整備課】

これまでの点検評価員等からの主な意見

・学校体育館を含めた空調整備が計画的に進められている。ともに、時代の変化に沿った先進的な取り組みであると評価できる。
（R4点検評価員会議）

関連計画				
関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_07教育環境の充実	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	枚方市学校整備計画		

8-③	学校規模等適正化事業	担当課	新しい学校推進課 施設整備課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	653,814
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・「枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）」に基づき、小規模校及び大規模校並びに過密校について、学校統合や通学区域の変更、増築等により、学校規模等の適正化に向けた取り組みを進める。
教育環境向上のため学校施設の有効活用も視野に入れた、今後の学校規模適正化の取り組みについて検討を行う。

・「枚方市学校規模等適正化基本方針【改訂版】に基づき、旧高陵小学校と旧中宮北小学校を統合して誕生した禁野小学校の新校舎整備事業については、「設計施工一括デザインビルド（ＤＢ）方式」で実施しており、令和６年度は、５年度より行っている実施設計のとりまとめを完了し７月から建設工事に着手する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校	実績値［A］ （校）	1	1	1
（目標値の根拠） 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校	目標値［B］ （校）	1	1	1
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆樟葉小学校の過密状態の解消を図るため、令和６年度から11年度までの期間、樟葉小学校の通学区域に在住する児童を対象に、希望により樟葉北小学校への就学を選択できる指定校変更制度を導入した。
◆今後の学校規模適正化の取り組みについては、令和８年度に改定が予定されている公共施設マネジメント推進計画と整合を図る必要があることから、同計画改定までの間は、小規模校の余裕教室等を活用して学校を中心としたまちづくりのモデル事業に取り組んでいくことを庁内で確認した。また、教室の最適利用を図るため、学校運営上必要となる教室（用途）と用途転用やハイブリッド利用が可能な教室等を仕分けした、小中学校における教室の活用基準を策定した。
◇小規模校を活用したモデル事業については、学校や地域の意見も伺いながら、具体的な内容を検討していく必要がある。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・これまで、学校統合のほか大規模校での校舎の増築や過密校対策として通学区域変更など、学校規模適正化の取り組みを適宜行ってこられたことは評価できる。今後は長期的な人口減少も見据え、学校のあり方だけではなく、地域づくりやまちづくりといった視点をもった公共施設全体の運用と整合を図りながら検討するとのことであり、このことが将来にわたる良好な教育環境の維持につながることを期待する。（R6点検評価員会議）

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	第3期実行計画（案）16-07教育環境の充実	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

8-④	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育研修課

8-⑤	校務の情報化推進事業	担当課	教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	22,962
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・児童・生徒の情報管理や帳票作成を行う校務支援システム（平成27年度導入・令和３年度更新）により、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。
・全中学校に採点支援システムを導入して、教職員の採点業務（採点、集計、転記）の効率化を図るとともに、分析機能を活用して生徒の弱点を把握し、個別最適な学びの充実につなげる。また、採点から成績処理の負担を軽減する。
・校務での生成ＡＩの活用について実証を行い市内小中学校間で好事例を情報共有し事務の効率化を図り校務の負担軽減につなげる。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 教員アンケートにおける「出席簿の学期ごとと年度末集計事務に要した合計時間」の１日の平均時間	実績値［A］ （時間）	1.75	0.89	（調整中）
（目標値の根拠） 1.5時間以内（学校の放課後時間内（15:30～17:00））に完了することをめざすもの	目標値［B］ （時間）	1.50	1.50	1.50
（めざすべき方向） ⇩	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	83.33	140.67	—

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆校務での生成ＡＩ活用を実証
市独自で民間企業と協力し、小中学校10校で教職員が校務で生成ＡＩの実証事業を行う。民間企業も巻き込んでチャットによる日常的なやり取りや定例会で実践事例を共有する。
◆採点支援システム成績分析機能活用研修を実施
生徒一人ひとりの個に応じた指導・支援につなげられるよう同システムの成績分析機能の活用を促進する。
◇校務支援システムの更新
現行システムは令和７年度末に契約終了するため、令和６年度から新システムの調査など検討を進めていく。次期システムは、令和９年度稼働をめざしパブリッククラウド上で運用できるシステムを前提とし、国の動向を注視し共同調達の仕組みを活用して円滑に更新できるよう、現行システムのリース延長やデータ移行を含め計画していく必要がある。
◇校務ＤＸの推進
国が示す「ＧＩＧＡスクール構想の下での校務ＤＸチェックリスト」に基づき、教職員の働きやすさと教育活動の更なる高度化をめざし、業務のデジタル化と校務ＤＸ環境の整備を行っていく。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	**達成度**	
	市長公約	令和5年度所信表明		
	実行計画	-	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	-		

8-⑥	小学校給食事業【再掲】※基本方策２に記載	担当課	おいしい給食課

8-⑦	樟葉西小学校給食調理場改修事業	担当課	おいしい給食課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	156,000
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・単独調理場は、老朽化対策とドライシステム導入が喫緊の課題である。樟葉西小学校給食調理場は、建築後45年が経過する学校併設の最も古い単独の調理場の一つであり、地盤沈下による施設の不具合や給排水設備などの改修が必要なことから、経費・工期の縮減が見込める既存の建物を活用する長寿命化改修工事を行い、ドライシステム調理場として整備する。
・令和４年度に予定していた工事の開札が中止となったことに伴い工期の変更を行い、令和５年７月から工事を開始している。令和６年度は、給食提供に必要な備品等を購入するとともに、８月には供用開始に向けた機器の試運転や環境整備を行い、２学期からの供用開始に向け取り組んでいく。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 改修における対策(6段階)の進捗状況 (①設計・②仮配膳室設置・③解体・④建築・⑤備品整備・⑥仮配膳室撤去)	実績値［A］ (段階)	0	2.5（指標②③④）	2.5（指標④⑤⑥）
（目標値の根拠） 改修完了までに実施すべき対策の段階(6段階)	目標値［B］ (段階)	2.5（指標②③④）	2.5（指標②③④）	2.5（指標④⑤⑥）
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ (%) ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	0.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆予定どおり令和６年度７月中に工事が完了し、調理場内の清掃、必要な備品の納入、試運転も兼ねたリハーサル調理を行い、２学期から安全に給食提供を開始することができた。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	−		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_09　子どもの健やかな身体の育成	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	−		

基本方策９　生涯学習の推進と図書館の充実

　社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題等、様々な課題に関する学びと、その成果を生かす機会が生涯にわたって提供されることが必要です。
　それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます[①②]。また、その学習の成果を、さらに地域において生かすことができる環境づくりを進めます。
　図書館においては、これまでの図書館運営の成果と課題を検証したうえで、「枚方市立図書館第４次グランドビジョン」を策定（令和３年３月予定）し、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、市民ニーズに応じた資料や情報を提供する基本的な役割を果たす[③④⑤⑥⑦⑧]ことで、誰もが読書に親しむとともに、様々な課題の解決につながるよう支援します。また、新型コロナウイルス感染症等に対応する新しい生活様式を踏まえ、電子媒体を活用した非接触型の新しいサービス提供に向けた検討を進めます[⑨]。
　読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館による支援強化[⑩]や、小学校への学校司書配置など、学校図書館機能の充実を図ることにより、児童・生徒の読書活動を推進します[⑩]。

主要事業の状況

9-①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	6,168
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

「人生100年時代」を迎えるにあたり、生涯自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の問題解決のための活動につなげていくことの必要性が高まっていく中、社会教育を推進するため、以下の事業を行う。
社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。
家庭教育支援事業…家庭教育を支援する各種事業を行う。参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する“気づき”を促す講座や、親と子が協力し、一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりする機会を提供することで、親子のコミュニケーションを促進する講座等を開催する。
社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座や、日本語の読み書きや話すことに支障があるため、日常生活に困難を有する人に対し、日本語の学習の場を提供することを目的とした、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」等を実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 社会教育活動推進事業への延べ参加者数	実績値［A］ （人）	3,375	3,686	1,569
（目標値の根拠） 新型コロナウイルス感染症の感染状況の動向が不透明であるものの、令和2年度に落ち込んだ実績を毎年730人ずつ増加させ、令和5年度までの3年間でこれまでの目標値を達成する。 【令和2年度までの目標値】「よみかき」等については平成27年度から令和元年度までの延べ参加者数の平均、その他の事業については募集人数の80%	目標値［B］ （人）	3,400	4,130	4,130
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	99.26	89.25	37.99

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆社会教育基礎講座として、「熱中症に気をつけて」（38人参加）・「明日の健康につながる毎日の習慣～口腔ケアは若い頃と同じでいいの？～」（34人参加）、オンデマンド講座「食中毒予防対策は“つけない！ふやさない！やっつける！”」（159回再生）、家庭教育支援事業として、「みんなはミライのために！ミライはみんなのために！～子どもと大人のSDGｓ学習ゲーム『Get The Point』で考えよう～」（９組18人参加）、社会教育人権講座として、「お隣さんは外国人～外国人とともにある社会～」（32人参加）を開催した。また、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」は、延べ954人の学習者が参加した。
◇市民にニーズのある事業のテーマ設定や、開催日時・開催手法の設定、周知方法について課題があるため、これまでの講座アンケート結果や、社会教育委員からのご意見も参照しながら、目標の達成に向け改善を図る。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・市民のニーズを踏まえた講座を実施されており、参加者数が増加していることは評価できる。今後は、より多くの市民が講座に参加できるよう、オンライン講座の開催についても検討いただきたい。（R5点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	**達成度**	
	市長公約	-		
	実行計画	-	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	-		

9-②	生涯学習事業	担当課	文化生涯学習課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	19,802
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

●生涯学習事業の推進
他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。
●生涯学習施設の運営
生涯学習市民センター（9施設）の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。
●枚方市生涯学習推進審議会運営事務
市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。
●枚方市美術推進委員協議会運営事務
年3回協議会を開催し、御殿山生涯学習美術センター及び総合文化芸術センター美術ギャラリーにおける企画展及び公募展の企画運営等、美術事業の推進に関することについて、専門的な立場から意見をいただく。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 生涯学習施策推進アンケートによる満足度の割合 （「満足」「概ね満足」と回答した設問数／総設問数） ※総設問数＝アンケート回答者数×設問数	実績値［A］ （%）	51.04 (2,090/4,095)	43.48 (1851/4257)	年度末に集計予定
（目標値の根拠） 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答した設問数が80%	目標値［B］ （%）	80.00	80.00	80.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	63.80	54.35	年度末に集計予定

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆生涯学習事業の推進
・自主事業や活動委員会事業を開催し、市民の生涯学習の機会を提供した。今後も継続して満足度の向上に努める。
・大阪美術学校創立100年を記念し、「大大阪モダニズムと大阪美術学校」を開催し、大阪美術学校の活動とその歴史的な意義を伝えた。
◆生涯学習施設の運営
・生涯学習市民センター（9施設）の利用運営を行った。
・サンプラザ生涯学習市民センターの閉館に伴い、生涯学習交流センターが9月17日にオープン。生涯学習事業の一層の推進を図った。
◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務
生涯学習推進審議会を実施する予定。
◆枚方市美術推進委員協議会運営事務
7月,11月,3月に枚方市美術推進委員協議会を開催予定。市所蔵美術品に関することやギャラリー利用者の報告、企画展及び公募展の企画運営について、専門的な立場から意見していただく。
◇利用者のニーズにあった事業を提供していくこと、気軽に立ち寄れる環境を整えていくことが必要である。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・満足度が半数にも満たない状況を踏まえ、現状に甘んじることなく好事例を参考とするなど、市民ニーズ・満足度の向上を意識した事業展開に努められたい。（R6点検評価員会議）

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	**達成度**	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_01生涯学習の推進	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	-		

9-③	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	80,000
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

基本的な蔵書構成を維持しながら市民の多様なニーズに応えるため、雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広くバランスを意識し、あらゆる分野にわたり、正確で新しい情報を提供できるよう計画的に資料を購入する。また、貸出頻度の高い児童書のロングセラーや、情報が古く更新が必要な図書の買い替えを積極的に進め、蔵書のリフレッシュを昨年度に引き続き行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 市民一人あたりの貸出冊数	実績値［A］ （冊）	12.08	9.86	3.89
（目標値の根拠） 平成28年度～平成30年度の実績の平均に2%を乗じた数値	目標値［B］ （冊）	8.70	8.70	8.70
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	124.54	113.33	44.71

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆選書に際しては、蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した。また、利用が多く劣化した本や情報の古い分野の蔵書の一部を更新した。
◆図書館の蔵書となる図書を児童書12,666冊、一般書25,415冊、合計38,081冊購入した。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画				
	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_02図書館運営・機能の充実	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン		

9-④	分館・分室巡回業務	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	15,039
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を業務委託により実施する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 分館・分室の巡回日数	実績値［A］ （件）	503	501	252
（目標値の根拠） 年度当初に予定していた年間巡回日数	目標値［B］ （件）	503	501	499
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	50.50

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

図書館資料の運搬を業務委託により実施している。
◆巡回回数：252回

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	-		

9-⑤	中央図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	68,243
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・図書館政策の企画・立案・周知等を行う。
・幅広い分野と難易度の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫における貸出を支援するとともに、他自治体の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの拠点館として各種図書館サービスを行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 中央図書館の貸出冊数	実績値［A］ （冊）	721,508	722,554	278,603
（目標値の根拠） 直近3年間の実績値の平均	目標値［B］ （冊）	699,532	661,718	736,219
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	103.14	109.19	37.84

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆開館日数：151日
　貸出冊数（個人）：278,603冊
　予約受付件数（個人）：30,135件
　延べ利用者数：76,957人

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画				
関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	**達成度**	
	市長公約	−		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_02図書館運営・機能の充実	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン		

9-⑥	図書館分館運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	393,239
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出やレファレンスサービス等の図書館サービスを提供することを目的として、図書館資料の貸出や予約の受付、レファレンスサービス、各種行事等を行う。
分室の市駅前サービススポットを、８つ目の分館施設となる市駅前図書館として令和６年９月より運営する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 全分館の貸出冊数	実績値［A］ （冊）	3,422,068	2,635,567	1,063,517
（目標値の根拠） 直近3年間の実績値の平均	目標値［B］ （冊）	2,091,090	2,584,165	2,598,502
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	163.65	101.99	40.93

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆全7分館を指定管理者が運営している。
◆９月17日から市駅前図書館を分館として開設し、分館数は全８館。
◆開館日数1,246日／7館（1館平均178日）
　　　　　　17日／市駅前
　貸出冊数（個人）：1,063,517冊／8館
　予約受付件数（個人）：13,246件／8館
　延べ利用者数：98,537人／8館

これまでの点検評価員等からの主な意見

・来年度にオープンする市駅前図書館については、指定管理者が運営される。蔵書規模は大きくないが、市駅前ということで、市民の皆さんはそのオープンをたいへん楽しみにしておられる。司書の皆さんが専門的なノウハウを活かして選定した魅力的な蔵書に加え、ＩＣタグシステムや予約図書受取ロッカーをはじめとした、これまで本市では提供してこなかった新たなサービスの提供と、指定管理者による専門的なサービスにより、枚方市の顔である枚方市駅直結の図書館にふさわしい、魅力ある図書館にしていただきたいと要望する。（議会）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	令和5年度所信表明、令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_02図書館運営・機能の充実	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン		

9-⑦	コンピュータシステム運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	222,004
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。
令和６年度には市駅前図書館、中央図書館へICタグシステムを導入し、「待たない」貸出手続きを実現するとともに、「いつでも借りられる」をコンセプトにした24時間利用可能な予約図書受取ロッカーを枚方市駅に設置する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 図書館HPアクセス件数 ※R4年度についてはシステム不具合により計上不能。	実績値［A］ （件）	—	1,496,780	757,585
（目標値の根拠） 直近3年間の実績値の平均	目標値［B］ （件）	1,385,867	3,403,040	1,482,875
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	—	115.11	51.09

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行っている。
◆HPアクセス件数：757,585件

これまでの点検評価員等からの主な意見

・市立図書館へのICタグシステムは、効率化につながるが、貸出データなどを蔵書購入の際にも活用していくのか、蔵書計画との整合性は？（議会）

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_02図書館運営・機能の充実	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

9-⑧	障害者利用促進事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	1,149
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・障害のある利用者等の読書環境を整備し、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸し出し、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者等の養成を行う。
・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）に基づき、視覚障害者等に対して、拡大読書機、ルーペ等の拡大補助具、点字ディスプレイ、デイジープレイヤー等の機器について、個々の状態に応じた活用に留意し、支援を行うとともに、様々な読書手段を紹介する。
・読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 点字・録音図書貸出タイトル数	実績値［A］ （タイトル）	2,889	2,708	1,370
（目標値の根拠） 直近3年間の実績値の平均	目標値［B］ （タイトル）	3,167	2,483	2,918
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	91.22	109.06	46.95

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆視覚障害者サービスとして、対面読書を26回実施した。
◆聴覚障害者サービスとして、手話でたのしむおはなし会を2回実施（延べ32人参加）した。
◆これまで利用してきた利用者の高齢化や死亡により、利用を休止することが増え、点字・録音図書の貸出は減少傾向にある。このため読書相談や資料案内などを通じて読書要求の拡大に務めた。また、加齢に伴い通常の活字による読書が困難になった高齢者が貸出に占める割合は、新規登録を含めて増える傾向にあり、これらの状況をふまえて引き続きサービスの周知に努める。
◇諸サービスについて、利用者の拡大と、録音資料の製作や対面読書を担う音訳協力者の養成が課題である。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	**達成度**	
	市長公約	-		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_02図書館運営・機能の充実	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン		

9-⑨	電子図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	1,056
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

ＩＣＴの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして、令和３年７月より「ひらかた電子図書館」を導入している。ウェブ上で電子書籍が読めるサービスで、文字の大きさの変更が可能であり、音声読み上げ機能付きのものもあり、紙の本が読みづらい人でも読書が楽しめる。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） ①電子書籍貸出冊数 ②閲覧回数（回）	実績値［A］ （冊）	①31,823 ②79,547	①39,410 ②96,891	①18,496 ②64,260
（目標値の根拠） 【R4年度】R3年度の実績（7月導入のため９か月分）を12か月分で換算した実績 【R5年度】直近２か年の平均値（R3を12か月換算） 【R6年度】直近３か年の平均値（R3を12か月換算）	目標値［B］ （冊）	①23,813 ②51,825	①27,818 ②65,686	①29,698 ②71,769
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	①133.64 ②153.49	①141.67 ②147.50	①62.28 ②89.54

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◇電子図書の蔵書冊数が少ない点と電子図書館の認知度を高める点が課題である。
◆子どもに本を届ける基金を活用し、同時に複数人がひとつのタイトルに閲覧できる読み放題パックを562タイトル購入した。
◆電子図書館利用統計
　ログイン数：25,002回　　閲覧回数：64,260回
　貸出冊数：18,496冊　　　予約件数：2,959件

これまでの点検評価員等からの主な意見

・電子書籍貸出冊数が、さまざまな工夫により、目標値と比べて実績値がかなり大きくなったことは評価できる。更なる貸出冊数の増加に向けた取組みを進めていただきたい。（R4点検評価員会議）
・タブレット端末による「ひらかた電子図書館」利用が可能となり、さらに「読み放題パック」を導入して以降に、小学生の電子図書館利用が多くなったということがわかった。今後も、安定的に財源を確保しながら、電子図書館全体はもちろん、特に読み放題パック等児童書を充実させていただき、子どもの利用をさらに拡大するよう要望する。（議会）

関連計画				
関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_02図書館運営・機能の充実	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	−		

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

9-⑩	学校図書館支援事業	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	14,991
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、教育指導課の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援及び学校図書館システムの管理・技術的支援を行うとともに、学校図書館の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援を行う。
・児童生徒の読書習慣の確立や情報活用力の育成をめざし、市立小中学校に配置する学校司書と連携しながら、学校図書館機能の向上及び充実を図る。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数	実績値［A］ （冊）	22.02	21.84	9.59
（目標値の根拠） 直近3年間の実績の平均	目標値［B］ （冊）	22.34	22.68	22.53
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	98.57	96.30	42.57

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆令和6年度、全19中学校及び小学校20校の学校司書25人（うち小中2校兼務8人、小学校2校兼務6人）と連携しながら、学校図書館整備の支援や学校図書館システムの管理・技術的支援、授業で活用するための資料提供等を行っている。
◆学校図書館における児童一人当たりの貸出冊数は9月30日時点でR5と比較すると、1.01冊減少している。
◆市立小学1年生をはじめ令和5年度新規の児童生徒タブレット端末用アカウントを、ひらかた電子図書館に登録した。7月より、学校での利用に適した、利用者数に制限なく同時にアクセスできる「児童書読み放題パック」を440点追加した（利用可能合計640点）。7月～9月、児童生徒の電子書籍閲覧数は令和4年度の同時期と比較して令和5年度は1.57倍増となり、令和6年度は令和5年度の同時期と比べ、1.55倍増となった。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）16_02 子どもの確かな学力の定着を図る	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン		

9-⑪	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課

基本方策10　文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実

「人生100年時代」を迎えるにあたり、一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、生涯学び、活躍していくためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。さらに、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

こうしたことから、子どもの時から様々な体験活動や、自由な空間を提供するとともに、地域等とも連携しながら、生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供していくことが求められています。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動等、様々な体験ができる機会を確保します①②。

生涯学習市民センターや新たに開設する「総合文化芸術センター」などを活用し、子どもたちをはじめとする市民が文化･芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます①③。

また、文化財等の適切な保存を進める④⑤とともに、特別史跡百済寺跡等の貴重な歴史文化遺産を生かして、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める⑥⑦とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動については、プロスポーツに触れる機会の提供や、スポーツ環境の整備に取り組む⑧⑨ともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます⑨。

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和２年３月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に取り組みます⑩⑪⑫。また、留守家庭児童会室の土曜日開室や三季休業期のみの利用受付を検討します⑪。

主要事業の状況

10-①	文化財活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課

10-②	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課

10-③	文化芸術創造拠点形成事業	担当課	文化生涯学習課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	34,654
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

総合文化芸術センターなどを活用し、文化芸術に触れるきっかけづくりとなるような魅力的な事業を数多く展開していくことで、市民の文化芸術への興味や関心を育て、文化芸術の裾野を広げることを重点施策としている。特に文化芸術の裾野を広げるための子ども対象の事業については、連携協定を締結している文化芸術団体や枚方市文化芸術アドバイザーの平田オリザ氏、枚方ゆかりの若手アーティスト、市教育委員会と連携協力して、子どもたちが感受性の豊かな時期に、等しく文化芸術を体験できる機会や、興味や関心のある子どもたちを育成する事業を総合的に行っていく。
また、市民が文化芸術を通じて喜びと誇り、愛着を感じられるまちづくりを目的に、市民文化芸術団体と個々に実施してきた「市民の活動支援事業」を、令和3年（2021年）の総合文化芸術センター開館後は、市内の文化芸術活動を一堂に集めた「市民総合文化祭」として開催し、ジャンルを越えた交流や、若年層の文化芸術活動への参加促進、新たなコラボレーションや文化芸術活動の推進につなげる。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 文化事業の参加者へのアンケートによる満足度の割合 （「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数/アンケート回答者数）×1割 ※各事業のアンケート回答者数の約1割を抜粋したもの	実績値［A］ （%）	95.21 (936/983)	91.4 (867/949)	年度末に集計予定
（目標値の根拠） 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数が75%	目標値［B］ （%）	75.00	75.00	75.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	126.95	121.87	年度末に集計予定

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆11月14日に枚方市文化芸術振興審議会を開催し、進捗を報告する予定である。
◆市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センターにおいて、指定管理者との共催等により事業を実施している。
◆市民や市民団体に文化芸術活動の発表の場の提供及び市民の文化芸術活動のジャンルを超えた交流促進やにぎわいの創出を目的に、市民総合文化祭を8月～9月にかけて開催した。
◆枚方市文化芸術アドバイザーである平田オリザ氏との連携事業として、コミュニケーション事業を実施している。
◆市立小学校5・6年生を対象に枚方市アーティストバンク登録アーティストを派遣する、アウトリーチ事業を実施している。
◆連携協定を締結している、大阪フィルハーモニー交響楽団との連携事業中学校オーケストラ鑑賞事業を2月に実施する予定である。

これまでの点検評価員等からの主な意見

・小学校に出向いての生の音楽を鑑賞する機会や、中学１年生がオーケストラ演奏を鑑賞する機会を創出するなど、児童生徒の完成を高める様々な活動が行われており、とても素晴らしい事業だと考える。（R6点検評価員会議）

関連計画			
第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
市長公約	令和６年度市政運営方針		
実行計画	第3期実行計画（案）17_04文化芸術の推進	R5からR6の達成度の推移	
関連計画	枚方市文化芸術振興計画【改訂版】		

10-④	文化財保護管理事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	32,103
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。
・特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施。
・楠葉台場跡は、幕末の砲台場を保護している史跡であり、その維持のため草刈りや、清掃点検等保全管理する。
・文化財管理用地にある竹林（国史跡楠葉台場跡の一部と藤田山遺跡第1丘陵及び第5丘陵の3か所）について、森林環境基金を活用し竹林管理を行う。
・文化財管理用地内の樹木が倒れ、被害が発生する可能性があるため、危険がある樹木の剪定・伐採を行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合	実績値［A］ （%）	100.00	100.00	100.00
（目標値の根拠） 当該年度の国庫補助金の費消率	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆文化財用地の草刈りを6月に実施し、10月にも実施予定。
◆出土した木製品等の遺物について、保存科学処理の実施。
◆百済寺跡見学者用バス駐車場の管理委託を実施。
◆楠葉台場跡では、草刈り、竹の間伐、清掃の定期管理の他、住民からの要望に対応する等、日常管理を行っている。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標　地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19　地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）19_01歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	-		

10-⑤	市指定文化財補助事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	483
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円の枚方市文化財保存事業補助金を交付し、市指定文化財の保存管理を支援する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数	実績値［A］ （件）	14	14	0
（目標値の根拠） 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数	目標値［B］ （件）	14	14	14
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC=｛B+(B−A)｝÷B （小数第三位を四捨五入）	100.00	100.00	0

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆市指定文化財の保存管理を支援するため、建造物の所有者に40,000円（3件）、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円（11件）の枚方市文化財保存事業補助金を交付予定。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19　地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	**達成度**	
	市長公約	−		
	実行計画	−	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	−		

10-⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	112,872
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行った。再整備に向け、平成24年度と平成25年度に基本計画の策定と基本設計を行い、平成26年度の実施設計を経て、平成27年度から再整備工事に着手している。再整備工事着手後、工事の遅延や築地塀の構造細部、瓦の意匠検討等に時間を要したため、整備計画スケジュールを見直し、事業完了を平成30年度から令和5年度としたが、整備費国庫補助金の減額、建築資材の高騰などのためさらに延び、令和６年度の完成となる見込みである。
・令和６年度は、赤松や山桜などの植栽、公園園路の緑化ブロック舗装、築地塀の雨落ち溝の設置、防犯カメラ設置、説明板の整備などを行い整備を完成させる予定。

		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 当該年度の事業進捗割合	実績値［A］ （%）	95.00	100.00	100.00
（目標値の根拠） 当該年度の国庫補助金の費消率	目標値［B］ （%）	100.00	100.00	100.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	95.00	100.00	100.00

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆令和6年度は、赤松や山桜などの植栽、公園園路の緑化ブロック舗装、築地塀の雨落ち溝の設置、防犯カメラ設置、説明板の整備及び東側エントランス広場等の舗装など再整備事業で残っている工事を実施し、令和7年3月にはすべての工事が完了する。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画			
第5次 総合計画	基本目標　地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19　地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	**達成度**	
市長公約	令和６年度市政運営方針		
実行計画	第3期実行計画（案）19_01歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実	**R5からR6の達成度の推移**	
関連計画	-		

10-⑦	市史編さん年報発行事務	担当課	文化財課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	1,062
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 市史関係の照会および市史資料の利用件数	実績値［A］ （件）	224	223.00	194.00
（目標値の根拠） 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値	目標値［B］ （件）	314	300	288
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	71.34	74.33	67.36

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆令和６年４月に有償頒布を開始した『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』に関する問い合わせも多く、市史関係の照会件数は順調に伸びている。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19　地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	**達成度**	
	市長公約	−		
	実行計画	第3期実行計画（案）19_01歴史的文化遺産の活用と情報発信の充実	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	−		

10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業	担当課	スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	49,665
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

・各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、実施。
・市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。
・ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託して実施。
・その他、市主催のスポーツイベントを実施。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 各種大会等参加者数	実績値［A］ （人）	15,464	20,880	5,479
（目標値の根拠） 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数	目標値［B］ （人）	24,918	24,918	24,918
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	62.06	83.79	21.98

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆各種競技大会（総合体育大会等）の運営を、公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し実施した。（参加者集計中）
◆4月28日にKTM河本工業総合体育館で枚方市長杯市内高校バレーボール大会を実施した。（参加者：393人）
◆6月16日にたまゆら陸上競技場でラグビーカーニバルの運営を、公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し実施した。（参加者：1,350人）
◆7月27日に総合文化芸術センターでパリ2024オリンピック・パラリンピック男子バレーボールパブリックビューイングの運営を、公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し実施した。（参加者：3,013人）
◆こども夢基金を活用し、トップアスリートとのふれあい事業として、スポーツチャレンジフェスタを実施した。（参加者：723人）

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画				
関連計画	第5次 総合計画	基本目標　健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6　誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	**達成度**	
	市長公約	-		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_04スポーツ活動の推進	**R5からR6の達成度の推移**	
	関連計画	-		

10-⑨	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	10
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） スポーツ活動者数 （競技大会等のスポーツイベントの参加者数　及びスポーツ施設の利用者数）	実績値［A］ （人）	1,006,818	1,033,755	年度末集計予定
（目標値の根拠） 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数	目標値［B］ （人）	1,150,649	1,150,649	1,150,649
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	87.50	89.8	年度末集計予定

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆スポーツ推進計画の具体的施策の点検・評価を進めている。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17　誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	
	市長公約	－		
	実行計画	第3期実行計画（案）17_04スポーツ活動の推進	R5からR6の達成度の推移	
	関連計画	－		

10-⑩	総合型放課後事業	担当課	放課後子ども課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	1,548,328
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

子どもたちの「時間」「空間」「仲間」のいわゆる３間を充実させ、すべての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様で自主的な活動に参加できる環境として「放課後オープンスクエア」を令和５年４月より全校（44校）で実施し、「留守家庭児童会室」と一体的な運営を核とし、「枚方子どもいきいき広場」と連携・協働しながら、「総合型放課後事業」として民間活力を活用しながら安定的な運営に取り組む。
また、本市の放課後対策の基本計画である「児童の放課後を豊かにする基本計画」が令和６年度で終期を迎えることから、国の放課後児童対策の考え方や現計画の取組状況を踏まえ、「（仮称）枚方市こども計画」に掲げる放課後児童対策の行動計画として「（仮称）児童の放課後を豊かにする行動計画」を策定する。なお、策定にあたっては、児童・保護者へのアンケートや児童への意見聴取を行い、ニーズを的確に把握するとともに、長期休業期の昼食サービスや放課後オープンスクエアの実施時間の延長などの具体的な取組について手法やスケジュールを検討していく。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 全児童に対する放課後の児童の居場所（放課後オープンスクエアの利用者及び留守家庭児童会入室児童）の割合	実績値［A］ （%）	-	50.48	55.14
（目標値の根拠） 児童たちの放課後の居場所として利用することができる	目標値［B］ （%）	-	20.00	50.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B-A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	-	252.40	275.70

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆令和６年４月１日では各留守家庭児童会室の定員に対する入室状況は、12名の待機児童が発生していたが、５月末には解消した。
◆放課後オープンスクエアの登録児童数は９月時点で7,597人であり、全児童18,998人に対する登録率は39.9％と全体の4割近い状況にある。
・放課後オープンスクエア参加人数（１日平均）　1101.7人
・留守家庭児童会室入室児童数（９月現在）　4,030人
・留守家・放課後OS併用利用児童数（９月現在）　1,151人
・全児童数（５月１日現在）　18,998人

これまでの点検評価員等からの主な意見

・これまで期限内に入室申込みのあった全ての児童を受入れるという方針のもと、臨時定員等を設けて受け入れされてきたということであるが、今後も放課後オープンスクエアの拡充、職員体制や施設の整備、余裕教室の確保などを通じて、通年で待機児童０をめざして取組んでいただきたい。（R5点検評価員会議）

関連計画				
	第5次 総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15　子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	
	市長公約	令和６年度市政運営方針		
	実行計画	第3期実行計画（案）15_01子どもが安心して教育・保育を受けられる環境	R5からR6の 達成度の推移	
	関連計画	児童の放課後を豊かにする基本計画		

10-⑪	枚方子どもいきいき広場補助事業	担当課	放課後子ども課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	31,220
					決算額	

事業概要（令和６年度の取り組み内容）

これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内44小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を活かしたプログラムを児童健全育成事業として実施する。地域団体やNPO等に対し支援・助成を行う。

指標		R4年度	R5年度	R6年度
（実績値の内容） 参加した子どもにおける事業の満足度 （算出式：満足度の高いアンケート回答者数／アンケート回答者数）	実績値［A］ （%）	アンケート調査未実施のため 実績なし	88.9	94.1
（目標値の根拠） 参加した子どもにおける事業の満足度	目標値［B］ （%）	80.00	80.00	80.00
（めざすべき方向） ⇧	達成度［C］ （%） ※⇧ならC=A÷B ※⇩ならC={B+(B−A)}÷B （小数第三位を四捨五入）	アンケート調査未実施のため 測定不能	111.12	117.62

令和６年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績　◇…事業の課題事項）

◆枚方子どもいきいき広場事業の第１回活動団体代表者会議を7月に開催し、活動報告や取組みについて情報交換を行いました。また、第２回会議も11月に開催予定としています。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15　子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	
	市長公約	−	R5からR6の達成度の推移	
	実行計画	−		
	関連計画	児童の放課後を豊かにする基本計画		